

Solid-State Memory Camcorder



ファームウェアアップグレードのお知らせ (Ver. 2.00)	JP
Firmware update (Ver. 2.00)	GB
固件更新 (2.00版)	CS
Mise à jour du micrologiciel (Ver. 2.00)	FR
Firmware-Update (Ver. 2.00)	DE
Aggiornamento del firmware (Ver. 2.00)	IT
Actualización de firmware (Ver. 2.00)	ES

本機は、アップグレードにより、新しい機能の追加に対応しております。
 ここでは、本機のVer.2.00で追加された機能の紹介や使いかたについて説明します。
 本機の「取扱説明書」も併せてお読みください。

Ver.2.00で追加された機能

- ハイダイナミックレンジ（HDR）による記録/再生/出力
 - ゼブラ1/ゼブラ2
 - ネットワーククライアントモードによる高品質なストリーミング
 - コンパクトライブスイッチャー MCX-500（別売）およびリモートコントロールユニットRM-30BP（別売）の以下の機能への対応
 - タリー表示
 - MCX-500 からの記録制御
- 詳しくは、MCX-500およびRM-30BPの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ネットワーク機能を使用すると、本機にはお客様の重要な個人情報（ストリーミング配信先の情報、FTPサーバーへのログイン情報など）が保存されます。
 本機を譲渡、処分する場合には、以下のどちらかを実行してください。
 -  (OTHERS) メニュー → INITIALIZE
 -  (NETWORK SET) メニュー → NETWORK RESET

目次

ハイダイナミックレンジ(HDR)

HDR 対応のピクチャープロファイルで撮影する	4
ピクチャープロファイルの HDR 関連項目	4
ガンマ表示アシスト機能を使う	5
撮影した HDR 映像を本機で再生する	6
XAVC 以外のフォーマットで HDR 記録されたファイルの制約	7

ゼブラ 1/ ゼブラ 2

ゼブラを設定する	7
----------------	---

ネットワーククライアントモードによる高品質なストリーミング

メニューで設定する	8
ネットワーククライアントモードを開始する	9
ネットワーククライアントモードでの配信開始と停止	9
ネットワーククライアントモードを終了する	9

エラーメッセージ	10
ネットワーククライアントモード対応フォーマット	11
ネットワーククライアントモードでの本機の操作・表示について	13
機能の制約について	14

補足

ハイレームレート撮影時の制約の一部解除について	15
-------------------------------	----

JP

ハイダイナミックレンジ (HDR)

HDR対応のピクチャープロファイルを適用することにより、従来より広いレンジの明るさが再現可能になりました。本機ではHybrid Log-Gamma (HLG) 方式に対応しており、4種類の設定値から選択できます。

[HLG] はITU-R BT.2100相当の設定です。[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] は、従来のカメラの映像表現と違和感がなく、より広いダイナミックレンジを活かした表現を可能にします。

HDR対応のピクチャープロファイルで撮影する

HDR撮影用の設定例として、[PP10] が追加されました。

- 1  (CAMERA SET) メニュー → [PICTURE PROFILE] → [PP10] を選ぶ。

ピクチャープロファイル番号	設定例
PP10	HDR撮影用の設定例

⚠️ ご注意

本機のピクチャープロファイルの設定値は [PP1] ~ [PP6]、[PP10] です。

- 2 必要に応じて、ピクチャープロファイルの項目を調整する。

- 3 **START/STOPボタン**（または**ハンドル録画ボタン**）を押す。
HDRで撮影された動画がメモリーカードに記録されます。

⚠️ ご注意

- **XAVC記録の場合**
本機でHDR映像をXAVCフォーマットで記録すると、HDRの再生や表示に必要な色域、ガンマなどのメタデータ（付加情報）が映像ファイルに記録されます。
再生や表示に使用する機器がこれらのメタデータに対応している場合は、自動的に適切な設定で表示されますが、対応していない場合は手動での設定などが必要になります。
- **AVCHD記録/MPEG HD記録の場合**
本機のAVCHD記録、MPEG HD記録はHDRメタデータに対応していません。
HDRを適切に再生、表示するためには、手動で設定する必要があります。

ピクチャープロファイルのHDR関連項目

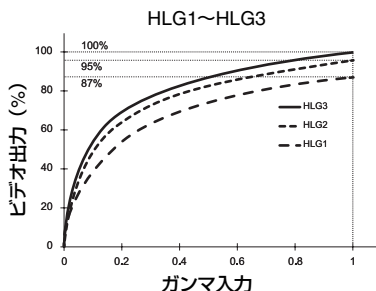
下記の項目が追加されました。

[GAMMA] の設定項目

（太字は初期設定）

設定項目	調整する内容
[HLG]	ITU-R BT.2100相当の設定
[HLG1]	[HLG2] よりもノイズを抑えたい場合の設定。ただし、撮影できるダイナミックレンジは狭くなる。
[HLG2]	ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。
[HLG3]	[HLG2] よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。

[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したものです。



ⓘご注意

- [HLG1]、[HLG2]、[HLG3] のガンマを選択時にはビデオ出力の最大値が異なり、[HLG1]：87%、[HLG2]：95%、[HLG3]：100%程度になります。本番撮影での失敗を防ぐため、事前にテスト撮影を行うことをおすすめします。
- [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] のいずれかに設定すると、下記のような制約があります。
 - [KNEE] の [MODE] をAUTOにしていると、[KNEE] の設定は無効になります。
 - [COLOR MODE] で選べるのは [BT.2020] または [709] のみになります。
 - [BLACK GAMMA] の設定は無効になります。
 - [AUTO BACK LIGHT] は使用できません。

[COLOR MODE] の設定項目

(太字は初期設定)

設定項目	調整する内容
[BT.2020]	[GAMMA] で [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3] を 選択したときの標準的な色合 い
[709]	[GAMMA] で [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3] を 選択して、HDTV形式(BT.709) の色で記録する場合の色合い

ⓘご注意

[BT.2020] 選択時、カラーバーは正しく出力されません。

ガンマ表示アシスト機能を使う

本機のファインダーと液晶モニターはHDR対応ではないため、HDRとしての適切な表示にはなりません。これに対し、ガンマ表示アシスト機能を使用すると、撮影しやすさを考慮した表示にすることができます。ガンマ表示アシスト機能が適用されるのは、ファインダーや液晶モニターに表示されるモニタリング画像または再生画像のみで、記録画像や出力画像には適用されません。

- 1 (DISPLAY SET) メニュー
→ [GAMMA DISP ASSIST] →
[ON/OFF] → [ON] を選ぶ。
- 2 [GAMMA DISP ASSIST] →
[TYPE] を選ぶ。

3 以下のいずれかを選ぶ。 (太字は初期設定)

設定項目	調整する内容
[AUTO]	撮影画面：ピクチャープ ロファイルでの設定に 応じて補正を自動で切 り換える。 再生画面：AVCHD/MPEG HDおよびXAVCのHLG 以外のファイルでは、 そのときのピクチャ プロファイルでの設定 に応じて補正を自動で 切り換える。XAVCの HLGファイルでは、再 生画像のガンマやカ ラーモードに応じて補 正を自動で切り換える。 サムネイル画面：直前の 設定（撮影/再生）を維 持する。
[HLG (BT.2020)]	[GAMMA] がHLGかつ [COLOR MODE] が [BT.2020] の場合に適し た補正を行う。
[HLG (709)]	[GAMMA] がHLGかつ [COLOR MODE] が [709] の場合に適した補 正を行う。


💡ちよっと一言

- 本機をバッテリー駆動で使用时、LCDの明るさを変えることで、HDRの画像がより確認しやすくなります。DISPLAY SETメニューで [LCD BRIGHT] → [BRIGHT] を選びます。
- [GAMMA DISP ASSIST] のON/OFFをASSIGNボタンに割り当てることができす。

アイコンについて

ガンマ表示アシスト機能をONにすると、撮影画面と再生画面に下図のようなアイコンが表示されます。

アイコン	意味
	[HLG (BT.2020)] 適用時

アイコン	意味
	[HLG (709)] 適用時

撮影したHDR映像を本機で再生する

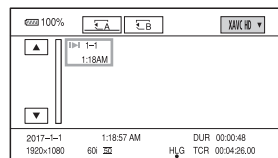
HDRで撮影した映像を本機で再生することができます。

XAVC QFHDまたはXAVC HDで記録されたファイルは、サムネイル画面と再生画面に「HLG」のアイコンが表示されます。(下図参照)

📌ご注意

- AVCHDまたはMPEG HDでHDR記録したファイルの再生時は、「HLG」のアイコンは表示されません。
- HDMI出力、SDI出力はHDRメタデータに対応していません。HDRを適切に表示するためには、手動で設定する必要があります。

サムネイル画面



「HLG」のアイコン*

* XAVCで記録されたファイルのみ

「HLG」の
アイコン*



* XAVCで記録されたファイルのみ

XAVC以外のフォーマット でHDR記録されたファイル の制約

XAVC QFHDまたはXAVC HD以外で記録されたファイルの場合、以下のような制約があります。

- HLGで記録したことがメタデータに残らない。
- サムネイル画面や再生画面でHLGアイコンが表示されない。

ゼブラ1/ゼブラ2

本バージョンではゼブラ機能が拡張され、以下の2種類の設定が選べるようになりました。また、レベル設定が1%刻みになりました。

- ゼブラ1：基準レベルと範囲を設定してゼブラを表示する。
- ゼブラ2：設定したレベル以上でゼブラを表示する。

JP

ゼブラを設定する

■ (DISPLAY SET) メニュー →

[ZEBRA] → 以下の項目を設定する。

(太字は初期設定)

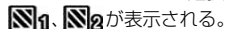
項目	設定値
[ZEBRA SELECT]	OFF 、ZEBRA1、ZEBRA2
[ZEBRA1 LEVEL] *1	0%～109% (1%刻み) (70%)
[ZEBRA1 APERTURE LEVEL] *2	2%～20% (2%刻み) (10%)
[ZEBRA2 LEVEL] *3	0%～109% (1%刻み) (100%)

*1 ゼブラ1のレベル (基準レベル)

*2 ゼブラ1の範囲

*3 ゼブラ2のレベル (下限レベル)

ZEBRA1、ZEBRA2を選択すると、アイコン



ⓘ ご注意

- ゼブラ1とゼブラ2の同時表示はできません。
- ゼブラはメモリーカードに記録されません。
- DISPLAY SETメニュー → [HISTOGRAM] が [ON[ZEBRA POINT]] のときでも、[ZEBRA SELECT] がOFFのとき、ヒストグラムのゼブラポイントは表示されません。

💡ちょっと一言

- [ZEBRA] をASSIGNボタンに割り当てることができます。ボタンを押すたびに、OFF → ZEBRA1 → ZEBRA2の順に切り換えられます。


ネットワーククライアントモードによる高品質なストリーミング

ネットワーククライアントモードを実行し、本機とソニー製ネットワークRXステーションPWS-100RX1（別売）のConnection Control Manager（以降「CCM」）を接続して使うことで、ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミングが可能になりました。

📌ご注意


- 本機能をご使用の前に基本的なネットワークの設定をする必要があります。
本機のネットワークの設定について詳しくは、取扱説明書の「無線LANの設定をする」「有線LANの設定をする」「ネットワーク設定をリセットする」をご覧ください。

メニューで設定する

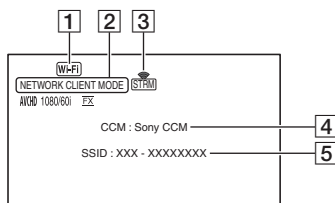
 (NETWORK SET) メニュー →
[NETWORK CLIENT MODE] →
[CCM SET] で以下の項目を入力し、
OKを選ぶ。

- Host Name：接続先CCMのIPアドレスまたはホスト名
- Port：接続先CCMのポート番号
- User：ユーザー名
- Password：パスワード

ネットワーククライアント モードを開始する

- 1  (NETWORK SET) メニュー
→ [NETWORK CLIENT
MODE] → [EXECUTE] を選
ぶ。

- 2 接続方法（有線/無線）を選ぶ。
CCMに接続します。
CCMと接続完了後、ストリーム配
信可能になります。



- 1 Wi-FiまたはLAN
 - 2 NETWORK CLIENT MODE
 - 3 ストリーミング状態表示
詳しくは、13ページの「アイ
コンについて」をご覧ください。
 - 4* CCMの名称（CCM側での設定
による）
 - 5* アクセスポイントのSSID（無
線選択時）
- * 4と5は、CCMに接続した直後のみ
表示されます。

ご注意

- ネットワーククライアントモード実
行時の制約などについては、14ペー
ジの「機能の制約について」をご覧
ください。

ちょっと一言

- ネットワーククライアントモードの
開始/終了（NETWORK CLIENT
MODE）をASSIGNボタンに割り当て
ることができます。

- オリジナルファイルの記録設定によ
り、ストリーミングデータのフレー
ムレートが異なります。詳しくは、
11ページの「ネットワーククライ
アントモード対応フォーマット」をご
覧ください。
- 実行中に本機でできる操作につい
ては、13ページの「ネットワークク
ライアントモードでの本機の操作・表
示について」をご覧ください。

JP

ネットワーククライアント モードでの配信開始と停止


配信の開始と停止はCCMの操作によっ
て行われます。
詳しくは、CCMの取扱説明書をご覧
ください。

ネットワーククライアント モードを終了する

- 1 記録している場合は、記録を停止
する。
（記録中は終了できません。）
- 2 以下のいずれかを押す。
 - MENUボタン
 - ネットワーククライアントモー
ドの開始/終了を割り当てた
ASSIGNボタン
- 3 確認画面で [YES] を選ぶ。
ネットワーククライアントモー
ドが終了します。

エラーメッセージ

ネットワーククライアントモード実行中にトラブルが発生した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示に合わせて対処してください。
「取扱説明書」の「エラーメッセージ」もあわせてお読みください。

エラーメッセージ	対処方法
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or automatic acquisition of an IP address has failed.	パスワード（WEPキー）を確認してください。 またはアクセスポイントのDHCP設定を確認してください。
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or the IP address setting is wrong.	パスワード（WEPキー）を確認してください。 または本機のIP Address設定を確認してください。
Failed to connect to the CCM. Check the “CCM SET”.	 (NETWORK SET) メニュー → [NETWORK CLIENT MODE] の [CCM SET] を確認してください。
Failed to acquire an IP address. Check the DNS server setting or the “CCM SET”.	CCMのホスト名が正しいか確認してください。 または本機とアクセスポイントのDNS設定を確認してください。
Failed to connect to the CCM. Check “CCM SET” or the settings of the connection destination.	本機のCCM設定と接続先のユーザー名、パスワード、ポート番号などの設定を確認してください。またはネットワークの接続状況を確認してください。
Failed to connect to the CCM. Check the “CLOCK SET”.	本機の時計を正しい日時に合わせてください。
Failed to connect to the CCM.	本機の設定およびCCMの状況を確認してください。

ネットワーククライアントモード対応フォーマット

ご注意

ストリーミングデータの画サイズはCCM側から設定されます。1,280×720はCCMの「HIGH」に、640×360は「LOW」に、それぞれ対応します。

オリジナルファイル (XAVC)			ストリーミングデータ			
画サイズ			1,280×720		640×360	
	フレームレート (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大ビットレート (Mbps)	6	6	3	3
3,840×2,160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1,920×1,080	60(50)p	50	○		○	
		35	○		○	
	60(50)i	50	○		○	
		35	○		○	
		25	○		○	
	30(25)p	50	○		○	
		35	○		○	
	24p	50		○		○
		35		○		○
1,280×720	60(50)p	50	○		○	

オリジナルファイル (MPEG HD 422)			ストリーミングデータ			
画サイズ			1,280×720		640×360	
	フレームレート (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大ビットレート (Mbps)	6	6	3	3
1,920×1,080	60(50)i	50	○		○	
	30(25)p	50	○		○	
	24p	50		○		○
1,280×720	60(50)p	50	○		○	

JP

オリジナルファイル (MPEG HD 420)			ストリーミングデータ			
画サイズ			1,280×720		640×360	
	フレームレート (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大ビットレート (Mbps)	6	6	3	3
1,920×1,080	60(50)i	HQ	○		○	
	30(25)p	HQ	○		○	
	24p	HQ		○		○
1,440×1,080	60(50)i	HQ	○		○	
1,280×720	60(50)p	HQ	○		○	

オリジナルファイル (AVCHD)			ストリーミングデータ			
画サイズ			1,280×720		640×360	
	フレームレート (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大ビットレート (Mbps)	6	6	3	3
1,920×1,080	60(50)p	PS				
	60(50)i	FX	○		○	
		FH	○		○	
	30(25)p	FX	○		○	
		FH	○		○	
	24p	FX		○		○
		FH		○		○
1,280×720	60(50)p	FX				
		FH				
		HQ				

ネットワーククライアントモードでの本機の操作・表示について

カメラで記録する

START/STOPボタン（またはハンドル録画ボタン）を押して記録する。

記録をやめるには、もう一度押します。

本体記録の状態は画面に以下のように表示されます。

STBY：スタンバイ中

REC：記録中

ⓘご注意



配信中は、SLOT SELボタンやメディアの抜き差しによって対象スロットを切り換えることができません。

有効な機能

以下の機能が有効です。操作はスイッチやボタンなどのハードキーを使用します。メニュー画面からは操作できません。

- ズーム
- ピント合わせ
- 配信音量の調整
- 露出調整（アイリス、ゲイン、シャッタースピード）
- ホワイトバランス

アイコンについて

アイコン	意味
	ストリーム配信スタンバイ中
	ストリーム配信中

JP

機能の制約について

種類	内容
記録設定や状態による制約	以下のような設定または状態のとき、ネットワーククライアントモードは実行できません。 <ul style="list-style-type: none">• XAVC QFHD (4K) モード• AVCHD 1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p• 動画記録中• 動画再生中• THUMBNAIL画面表示中• Wi-Fiリモコン使用中• S&Q MOTION使用中
機能実行中の制約 (使えない機能)	ネットワーククライアントモード実行中は、以下の機能は使用できません。 <ul style="list-style-type: none">• メニューの操作• Wi-Fiリモコン• SIMUL/RELAY REC• プロキシシー記録• DATE REC• ZEBRA• PEAKING• MARKER• FACE DETECTION• COLOR BAR• D. EXTENDER• S&Q MOTION• NIGHTSHOT• FOCUS MAGNIFIER• AUTO MODE SET• ONE PUSH WB (配信中)
機能実行中の制約 (制限を受ける機能)	ネットワーククライアントモード実行中は、以下のような制約があります。 <ul style="list-style-type: none">• AIRPLANE MODEがONのときは、有線LAN接続のみ有効• XAVC QFHD (4Kモード) で記録中の映像出力先はファインダーと液晶モニター (VF/LCD PANEL) に固定されます。

補足

Ver.2.00の機能全般について、下記のように補足します。

ハイレームレート撮影時の制約の一部解除について

ハイレームレート撮影時の制約のうち、「ピクチャープロファイルのブラックガンマが0に固定される」という制約は解除されました。

JP

New functions have been added to your camcorder by the update.

This document describes the functions and respective operations added in Ver. 2.00. Read this together with the “Operating Guide” for the camcorder.

Functions added with Ver. 2.00

- Recording/playback/output in High Dynamic Range (HDR)
 - Zebra 1 / zebra 2
 - High-quality streaming using NETWORK CLIENT MODE
 - Support for the following functions of the MCX-500 Multi-Camera Live Producer (sold separately) and RM-30BP Remote Commander (sold separately)
 - Tally display
 - Recording control from MCX-500
- For details, refer to the operating instructions supplied with the MCX-500 and RM-30BP.

Note



- Important personal information (streaming destination information, FTP server login information, etc.) is stored in the camcorder when using network functions.
Execute one of the following when transferring ownership or disposing of the camcorder.
 -  (OTHERS) menu → INITIALIZE
 -  (NETWORK SET) menu → NETWORK RESET

Table of Contents

High Dynamic Range (HDR)

Shooting using HDR-compatible picture profile	4
Picture profile HDR-related items	4
Using the gamma display assist function	5
Playing video recorded in HDR on the camcorder	6
Limitations on HDR files recorded in non-XAVC formats	6

Zebra 1 / Zebra 2

Setting zebra	7
---------------------	---

High-Quality Streaming using NETWORK CLIENT MODE

Configuring using the menu	7
Starting network client mode	8
Starting/stopping streaming in network client mode	8
Stopping network client mode	8

Error messages	9
Network client mode supported formats	10
Network client mode operations and display	12
Function limitations	13

Additional Information

Partial removal of limitations of High Frame Rate recording	14
---	----

High Dynamic Range (HDR)

Reproduction of brightness over a wider range than previously available is now supported by applying an HDR-compatible picture profile. The camcorder supports Hybrid Log-Gamma (HLG), with four selectable settings.

The [HLG] setting is equivalent to ITU-R BT.2100. The [HLG1], [HLG2], and [HLG3] settings enable images to be reproduced with a wider dynamic range without images that appear unnatural, as can arise in existing camera image reproduction.

Shooting using HDR-compatible picture profile

[PP10] has been added for shooting in HDR.

- 1 Select  (CAMERA SET) menu → [PICTURE PROFILE] → [PP10].

Picture profile number	Example setting
PP10	Setting for shooting in HDR

Note

The picture profile settings on the camcorder are [PP1] to [PP6] and [PP10].

- 2 Adjust the picture profile items, as required.

- 3 Press the START/STOP button (or the handle record button).

Movies shot in HDR are recorded on the memory card.

Notes

- **For XAVC recording**
When recording HDR video in XAVC format on the camcorder, the color space, gamma, and

other metadata required for HDR playback and display are stored in the video file.

On devices used for playback and display that support the metadata, the video is displayed automatically with the appropriate settings. On devices that do not support the metadata, manual configuration is required.

- **For AVCHD recording / MPEG HD recording**

AVCHD format recordings and MPEG HD format recordings do not support HDR metadata. For appropriate playback and display of HDR, manual configuration is required.

Picture profile HDR-related items

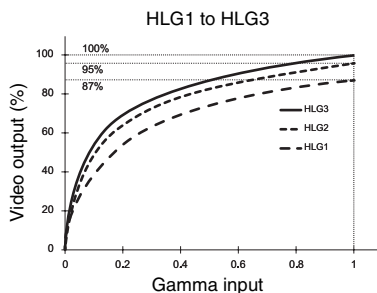
The following items have been added.

[GAMMA] items

(Default setting in bold)

Item	Description
[HLG]	Setting equivalent to ITU-R BT.2100.
[HLG1]	Setting that provides greater noise suppression than [HLG2]. However, the dynamic range that can be shot is narrower.
[HLG2]	Setting with balance between dynamic range and noise suppression.
[HLG3]	Setting that provides wider dynamic range than [HLG2]. However, the noise level rises.

[HLG1], [HLG2], and [HLG3] all use the same gamma curve characteristic. Only the dynamic range and noise suppression characteristics differ.



Notes

- The maximum value of the video output varies depending on whether [HLG1], [HLG2], or [HLG3] is selected ([HLG1]: 87%, [HLG2]: 95%, [HLG3]: 100%). Test shooting beforehand is recommended to prevent loss of detail during actual shooting.
- The following limitations apply when [HLG], [HLG1], [HLG2], or [HLG3] is selected.
 - If [MODE] is set to AUTO for [KNEE], the [KNEE] setting becomes disabled.
 - [COLOR MODE] can only be set to [BT.2020] or [709].
 - The [BLACK GAMMA] setting is disabled.
 - [AUTO BACK LIGHT] cannot be used.

[COLOR MODE] items

(Default setting in bold)

Item	Description
[BT.2020]	Standard color tone when [HLG], [HLG1], [HLG2], or [HLG3] is selected for [GAMMA].
[709]	Color tone for recording HDTV format (BT.709) color when [HLG], [HLG1], [HLG2], or [HLG3] is selected for [GAMMA].

Note

Color bars are not output correctly when [BT.2020] is selected.

Using the gamma display assist function

The viewfinder and LCD screen of the camcorder do not support HDR, and so are not appropriate for displaying HDR. However, they can display an image to aid shooting using the gamma display assist function.

The gamma display assist function affects only the monitoring video or playback video displayed in the viewfinder or on the LCD screen. The recorded video and output video are not affected.

- Select **[DISPLAY SET]** menu → **[GAMMA DISP ASSIST]** → **[ON/OFF]** → **[ON]**.
- Select **[GAMMA DISP ASSIST]** → **[TYPE]**.
- Select one of the following.

(Default setting in bold)

Item	Description
[AUTO]	Shooting screen: Automatically corrects the picture according to the picture profile setting. Playback screen: For AVCHD, MPEG HD, and XAVC non-HLG files, automatically corrects the picture according to the current picture profile setting. For XAVC HLG files, automatically corrects the picture according to the gamma and color mode of the playback screen. Thumbnail screen: Maintains the recent setting (shooting/playback).



Item	Description
[HLG (BT.2020)]	Applies suitable correction for when [GAMMA] is HLG and [COLOR MODE] is set to [BT.2020].
[HLG(709)]	Applies suitable correction for when [GAMMA] is HLG and [COLOR MODE] is set to [709].

💡 Tips

- When the camcorder is powered using the battery pack, changing the brightness of the LCD will make the HDR image easier to monitor. In the DISPLAY SET menu, select [LCD BRIGHT] → [BRIGHT].
- You can assign the [GAMMA DISP ASSIST] ON/OFF setting to an ASSIGN button.

Icon display

When the gamma display assist function is ON, the following icons are displayed on the shooting screen and playback screen.

Icon	Meaning
	[HLG(BT.2020)] in use
	[HLG(709)] in use

Playing video recorded in HDR on the camcorder

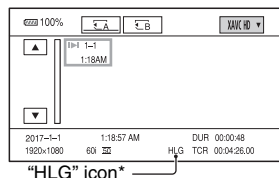
You can play back video recorded in HDR on the camcorder.

When playing files recorded in XAVC QFHD or XAVC HD format, an “HLG” icon is displayed on the thumbnail screen and playback screen (see following diagrams).

📌 Notes

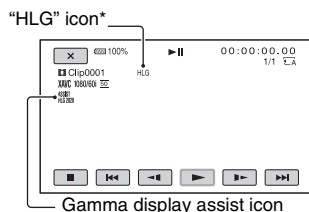
- An “HLG” icon is not displayed when playing AVCHD or MPEG HD format files recorded in HDR.
- The HDMI output and SDI output do not support HDR metadata. For appropriate display of HDR, manual configuration is required.

Thumbnail screen



- * Only files recorded in XAVC format.

Playback screen



- * Only files recorded in XAVC format.

Limitations on HDR files recorded in non-XAVC formats

The following limitations apply on files recorded in formats other than XAVC-QFHD or XAVC HD.


- The fact that the recording used HLG is not registered in metadata.
- The “HLG” icon is not displayed on the thumbnail screen and playback screen.

Zebra 1 / Zebra 2

The zebra function has been enhanced in this version, allowing you to select the following two types of setting. Also, the level settings can now be adjusted in 1% increments.

- Zebra 1: Set a reference level and range for zebra display.
- Zebra 2: Display zebra above a set level.

Setting zebra



Select  (DISPLAY SET) menu → [ZEBRA], and set the following items.
(Default setting in bold)

Item	Settings
[ZEBRA SELECT]	OFF , ZEBRA1, ZEBRA2
[ZEBRA1 LEVEL] *1	0% to 109% (1% increments) (70%)
[ZEBRA1 APERTURE LEVEL] *2	2% to 20% (2% increments) (10%)
[ZEBRA2 LEVEL] *3	0% to 109% (1% increments) (100%)

*1 Zebra 1 level (reference level)

*2 Zebra 1 range

*3 Zebra 2 level (minimum level)

When ZEBRA1 or ZEBRA2 is selected, the  icon or  icon appears.

Notes

- Zebra 1 and zebra 2 cannot be displayed at the same time.
- Zebra is not recorded onto the memory card.
- When [ZEBRA SELECT] is OFF, the zebra point of the histogram is not displayed, even if [HISTOGRAM] is set to [ON[ZEBRA POINT]] in the DISPLAY SET menu.

Tip

- You can assign [ZEBRA] to an ASSIGN button. The setting switches to OFF → ZEBRA1 → ZEBRA2 each time you press the button.


High-Quality Streaming using NETWORK CLIENT MODE

High-quality streaming employing Sony QoS technology is supported in network client mode by connecting a Sony PWS-100RX1 Network RX Station (sold separately) acting as a Connection Control Manager (hereinafter, “CCM”).

Note

- Basic network configuration is required before using this function. For details about the network settings of the camcorder, refer to “Configuring a wireless LAN,” “Configuring a wired LAN,” and “Resetting network settings” in the Operating Guide.


Configuring using the menu

Select  (NETWORK SET) menu → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET], enter the following items, and select OK.

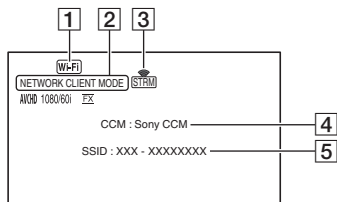
- Host Name: IP address or host name of the connected CCM
- Port: Port number of the connected CCM
- User: User name
- Password: Password

GB

Starting network client mode

- 1 Select  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [EXECUTE].
- 2 Select the connection method (wired/wireless).

The camcorder connects to the CCM.
Streaming is enabled after connecting to the CCM.



- 1 Wi-Fi or LAN
 - 2 NETWORK CLIENT MODE
 - 3 Streaming status indicator
For details, see “Icon display” (page 12).
 - 4 *CCM name (set on the CCM side)
 - 5 *SSID of access point (when wireless is selected)
- * [4] and [5] are only displayed immediately after connecting to the CCM.

Note

- For details about limitations when running in network client mode, see “Function limitations” (page 13).

Tips

- You can assign the network client mode start/stop function (NETWORK CLIENT MODE) to an ASSIGN button.
- The frame rate of the streaming data will vary depending on the recording settings for the original file. For details, see “Network client mode supported formats” (page 10).
- For details about supported operations on the camcorder in network client mode, see “Network client mode operations and display” (page 12).

Starting/stopping streaming in network client mode

Streaming is started/stopped by the CCM.
For details, refer to the operating instructions of the CCM.


Stopping network client mode

- 1 Stop recording, if currently recording.
(Network client mode cannot be stopped while recording.)
- 2 Press one of the following.
 - MENU button
 - ASSIGN button assigned with the network client mode start/stop function
- 3 Select [YES] on the confirmation screen.
Network client mode stops.

Error messages

When problems occur during network client mode operation, the following error messages may be displayed. Take measures depending on the displayed message.

Refer also to “Error messages” in the Operating Guide for the camcorder.

Error message	Solution
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or automatic acquisition of an IP address has failed.	Check the password (WEP key). Check the DHCP settings of the access point.
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or the IP address setting is wrong.	Check the password (WEP key). Check the IP address setting of the camcorder.
Failed to connect to the CCM. Check the “CCM SET”.	Check  (NETWORK SET) menu → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET] settings.
Failed to acquire an IP address. Check the DNS server setting or the “CCM SET”.	Check that the CCM host name is correct. Check the DNS settings of the camcorder and access point.
Failed to connect to the CCM. Check “CCM SET” or the settings of the connection destination.	Check the CCM setting of the camcorder, and the user name, password, port number and other settings of the connected destination. Also, check the network connection status.
Failed to connect to the CCM. Check the “CLOCK SET”.	Check that the camcorder clock is set to the correct time.
Failed to connect to the CCM.	Check the camcorder settings and the status on the CCM side.

GB

Network client mode supported formats

Note

The picture size of the streaming data is set from the CCM side. The size is 1,280×720 when CCM is HIGH, and 640×360 when CCM is LOW.

Original file (XAVC)			Streaming data			
Image size			1,280×720		640×360	
	Frame rate (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximum bit rate (Mbps)	6	6	3	3
3,840×2,160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1,920×1,080	60(50)p	50	Yes		Yes	
		35	Yes		Yes	
	60(50)i	50	Yes		Yes	
		35	Yes		Yes	
		25	Yes		Yes	
	30(25)p	50	Yes		Yes	
		35	Yes		Yes	
	24p	50		Yes		Yes
		35		Yes		Yes
	60(50)p	50	Yes		Yes	
1,280×720	60(50)p	50	Yes		Yes	

Original file (MPEG HD 422)			Streaming data			
Image size			1,280×720		640×360	
	Frame rate (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximum bit rate (Mbps)	6	6	3	3
1,920×1,080	60(50)i	50	Yes		Yes	
	30(25)p	50	Yes		Yes	
	24p	50		Yes		Yes
1,280×720	60(50)p	50	Yes		Yes	

Original file (MPEG HD 420)			Streaming data			
Image size			1,280×720		640×360	
	Frame rate (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximum bit rate (Mbps)	6	6	3	3
1,920×1,080	60(50)i	HQ	Yes		Yes	
	30(25)p	HQ	Yes		Yes	
	24p	HQ		Yes		Yes
1,440×1,080	60(50)i	HQ	Yes		Yes	
1,280×720	60(50)p	HQ	Yes		Yes	

Original file (AVCHD)			Streaming data			
Image size			1,280×720		640×360	
	Frame rate (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximum bit rate (Mbps)	6	6	3	3
1,920×1,080	60(50)p	PS				
	60(50)i	FX	Yes		Yes	
		FH	Yes		Yes	
	30(25)p	FX	Yes		Yes	
		FH	Yes		Yes	
	24p	FX		Yes		Yes
		FH		Yes		Yes
1,280×720	60(50)p	FX				
		FH				
		HQ				

Network client mode operations and display

Recording using the camcorder

Press the START/STOP button (or the handle record button) to start recording.

To stop recording, press the button again.

The camcorder recording status is displayed using the following indicators.

STBY: Standby mode

REC: Recording

Note



During streaming, switching the current slot using the SLOT SEL button or removing/inserting media is not possible.

Enabled functions

The following functions are enabled. Use the hardware switches and buttons to control the camcorder. Operation from the menu is not supported.

- Zooming
- Focusing
- Streaming volume adjustment
- Exposure adjustment (iris, gain, and shutter speed)
- White balance

Icon display

Icon	Meaning
	Streaming standby
	Streaming

Function limitations

Limitation	Description
Limitations due to recording settings and state	<p>Network client mode cannot be executed with the following settings or states.</p> <ul style="list-style-type: none"> • XAVC QFHD (4K) mode • AVCHD 1080/60p, 1080/50p, 720/60p, 720/50p • During movie recording • During movie playback • During THUMBNAIL screen display • When using Wi-Fi remote control • When using S&Q MOTION
Limitations on function execution (unsupported functions)	<p>The following functions cannot be used during network client mode operation.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Menu operations • Wi-Fi remote control • SIMUL/RELAY REC • Proxy recording • DATE REC • ZEBRA • PEAKING • MARKER • FACE DETECTION • COLOR BAR • D. EXTENDER • S&Q MOTION • NIGHTSHOT • FOCUS MAGNIFIER • AUTO MODE SET • ONE PUSH WB (during streaming)
Limitations on function execution (restricted functions)	<p>The following limitations apply during network client mode operation.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Only wired LAN connection is enabled when AIRPLANE MODE is ON. • The video output destination while recording in XAVC QFHD (4K mode) is fixed to the viewfinder and LCD screen (VF/LCD PANEL).

GB

Additional Information

The following supplementary information is provided for functions in Ver. 2.00.

Partial removal of limitations of High Frame Rate recording

The “Black gamma in picture profiles is fixed to 0” limitation for High Frame Rate recording has been removed.



本机已通过更新添加了新功能。

本文档介绍了 2.00 版中新增的功能和相应操作。请阅读本文档以及本机的“操作指南”。

2.00 版中新增的功能

- 以高动态范围 (HDR) 进行录制 / 播放 / 输出
 - 斑马线 1/ 斑马线 2
 - 使用 NETWORK CLIENT MODE 的高质量流媒体
 - 支持 MCX-500 Multi-Camera Live Producer (另售) 和 RM-30BP 遥控器 (另售) 的下列功能
 - Tally 显示
 - 从 MCX-500 进行录制控制
- 有关详细信息, 请参阅 MCX-500 和 RM-30BP 随附的使用说明书。

⚠ 注意

- 使用网络功能时, 重要的个人信息 (流媒体目的地信息、FTP 服务器登录信息等) 存储在本机中。
转让本机所有权或处置本机时, 请执行下列操作之一。
 -  (其它) 菜单 → 初始化
 -  (网络设置) 菜单 → 网络重置

目录

高动态范围 (HDR)

使用 HDR 兼容的图像配置文档进行拍摄	4
图像配置文档 HDR 相关项目	4
使用伽马显示辅助功能	5
在本机上播放在 HDR 中录制的视频	6
对以非 XAVC 格式录制的 HDR 文件的限制	7

斑马线 1/ 斑马线 2

设定斑马线	7
-------------	---

使用 NETWORK CLIENT MODE 的高质量流媒体

使用菜单进行配置	8
启动网络客户端模式	9
在网络客户端模式下开始 / 停止流媒体	9
停止网络客户端模式	9
错误信息	10
网络客户端模式支持的格式	11
网络客户端模式操作和显示	13
功能限制	14

附加信息

部分取消对高帧速率录制的限制	15
----------------------	----

CS

高动态范围 (HDR)

现在通过应用 HDR 兼容的图像配置文档，可支持在比先前可用范围更大的范围内再现亮度。本机支持混合对数伽马 (HLG)，有四个可选设置。

[HLG] 设置等同于 ITU-R BT.2100。
[HLG1]、[HLG2] 和 [HLG3] 设置可让图像以更宽的动态范围再现，而不会出现如现有摄像机图像再现中可能出现的不自然现象。

使用 HDR 兼容的图像配置文档进行拍摄

在 HDR 中拍摄时已添加 [PP10]。

- 1 选择  (摄像机设定) 菜单 → [PICTURE PROFILE] → [PP10]。

图像配置 文档编号	设定示例
--------------	------

PP10	设置在 HDR 中拍摄
------	-------------

注意

本机的图像配置文档设置为 [PP1] 至 [PP6] 和 [PP10]。

- 2 请根据需要调整图像配置文档项目。

- 3 按下 START/STOP 按钮 (或手柄录制按钮)。

在 HDR 中拍摄的动画会记录在存储卡中。

注意

- 针对 XAVC 录制

在摄像机上以 XAVC 格式录制 HDR 视频时，进行 HDR 播放和显示所需的色彩空间、伽马和其他元数据都存储在视频文件中。如果用于播放和显示的设备支持元数据，视频会自动以相应设置显示。如果设备不支持元数据，需要手动配置。

- 针对 AVCHD 录制/MPEG HD 录制
AVCHD 格式录制和 MPEG HD 格式录制不支持 HDR 元数据。若要恰当地播放和显示 HDR，需要进行手动配置。

图像配置文档 HDR 相关项目

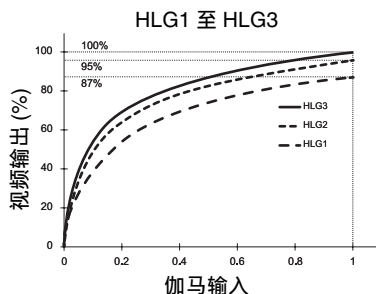
已增加下列项目。

[GAMMA] 项目

(加粗项为默认设定)

项目	描述
[HLG]	设置等同于 ITU-R BT.2100。
[HLG1]	此设置可提供比 [HLG2] 更大的噪声抑制。但是可拍摄的动态范围会更窄。
[HLG2]	此设置可平衡动态范围和噪声抑制。
[HLG3]	此设置可提供比 [HLG2] 更大的动态范围。但是噪声电平会上升。

[HLG1]、[HLG2] 和 [HLG3] 均使用相同的伽马曲线特性。只有动态范围和噪声抑制特性不同。



注意

- 视频输出的最大值根据选择 [HLG1]、[HLG2] 还是 [HLG3] 而不同 ([HLG1]: 87%、[HLG2]: 95%、[HLG3]: 100%)。建议事先进行测试拍摄, 以防在实际拍摄时丢失细节。
- 选择 [HLG]、[HLG1]、[HLG2] 或 [HLG3] 时会受到下列限制。
 - 如果[膝点]的[模式]设为“自动设定”, 则[膝点]设置将被禁用。
 - [色彩模式]只能设为[BT.2020]或 [709]。
 - [黑色GAMMA]设置被禁用。
 - 无法使用[自动背光校正]。

[色彩模式] 项目

(加粗项为默认设定)

项目	描述
[BT.2020]	为 [GAMMA] 选择 [HLG]、[HLG1]、[HLG2] 或 [HLG3] 时的标准色调。
[709]	为 [GAMMA] 选择 [HLG]、[HLG1]、[HLG2] 或 [HLG3] 时, 用于录制 HDTV 格式 (BT.709) 色彩的色调。

注意

选择 [BT.2020] 时不会正确输出彩条。

使用伽马显示辅助功能

本机的寻像器和液晶屏不支持 HDR, 因此不适用于显示 HDR。但是, 通过使用伽马显示辅助功能, 可以显示图像以辅助拍摄。伽马显示辅助功能仅对寻像器或液晶屏上显示的监控视频或播放视频有效。对录制的视频和输出视频则不会有任何影响。

CS

- 1 选择 (显示设定) 菜单 → [GAMMA 显示辅助] → [开/关] → [开]。
- 2 选择 [GAMMA 显示辅助] → [类型]。

3 选择下列项目之一。

(加粗项为默认设定)

项目	描述
[自动设定]	拍摄屏幕：根据图像配置文档设定自动校正图像。 播放屏幕：对于 AVCHD、MPEG HD 和 XAVC 非 HLG 文件，会根据当前的图像配置文档设定自动校正图像。 对于 XAVC HLG 文件，会根据播放屏幕中的伽马和色彩模式自动校正图像。 缩略图屏幕：保持最近设置（拍摄 / 播放）不变。
[HLG (BT.2020)]	当 [GAMMA] 为 HLG 且 [色彩模式] 设为 [BT.2020] 时，应用合适的校正。
[HLG(709)]	当 [GAMMA] 为 HLG 且 [色彩模式] 设为 [709] 时，应用合适的校正。

💡 提示

- 当本机使用电池供电时，更改液晶亮度可让 HDR 图像更易被监控。在“显示设定”菜单中，选择 [液晶屏亮度] → [变亮]。
- 可以将 [GAMMA 显示辅助] 开/关设置指定到 ASSIGN 按钮。

图标显示

当伽马显示辅助功能为“开”时，拍摄屏幕和播放屏幕上会显示以下图标。

图标	含义
	[HLG(BT.2020)] 正在使用中
	[HLG(709)] 正在使用中

在本机上播放 HDR 中录制的视频

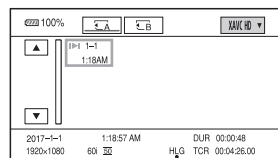
可以在本机上播放 HDR 中录制的视频。

当播放以 XAVC QFHD 或 XAVC HD 格式录制的文件时，缩略图屏幕和播放屏幕上会显示“HLG”图标（参见下图）。

⚠ 注意

- 当播放 HDR 中录制的 AVCHD 或 MPEG HD 格式的文件时，不会显示“HLG”图标。
- HDMI 输出和 SDI 输出不支持 HDR 元数据。若要恰当地显示 HDR，需要进行手动配置。

缩略图屏幕



“HLG”图标*

* 仅限以 XAVC 格式录制的文件。

“HLG”图标*



伽马显示辅助图标

* 仅限以 XAVC 格式录制的文件。

对以非 XAVC 格式录制的 HDR 文件的限制

以下限制适用于以除 XAVC-QFHD 或 XAVC HD 之外的格式录制的文件。

- 使用 HLG 的录制未在元数据中注册。
- “HLG”图标不会在缩略图屏幕和播放屏幕上显示。


斑马线 1/ 斑马线 2

此版本中增强了斑马线功能，让您可以选择下列两种设定类型。此外，还可按 1% 的增量调节等级设定。

- 斑马线 1：设定斑马线显示的参考等级和范围。
- 斑马线 2：显示在设定等级以上的斑马线。

设定斑马线

CS

选择  (显示设定) 菜单 → [斑马线]，设置下列项目。



(加粗项为默认设定)

项目	设定
[斑马线选择]	关 、斑马线 1、斑马线 2
[斑马线 1 等级] *1	0% 到 109% (以 1% 为增量) (70%)
[斑马线 1 光圈等级] *2	2% 到 20% (以 2% 为增量) (10%)
[斑马线 2 等级] *3	0% 到 109% (以 1% 为增量) (100%)

*1 斑马线1等级 (参考等级)

*2 斑马线1范围

*3 斑马线2等级 (最低等级)

当选择“斑马线 1”或“斑马线 2”时，会出现  图标或  图标。

注意

- 斑马线 1 和斑马线 2 不能同时显示。
- 斑马线不会录制到存储卡中。

- 当 [斑马线选择] 为 “关” 时, 即使 “显示设定” 菜单中的 [直方图] 设为 [开启 [斑马线点]], 也不会显示直方图的斑马线点。

提示

- 可以将 [斑马线] 指定到 ASSIGN 按钮。每次按此按钮, 设定都会切换到 “关 → 斑马线 1 → 斑马线 2”。


使用 NETWORK CLIENT MODE 的高质量流媒体

连接 Sony PWS-100RX1 Network RX Station (另售) 作为 Connection Control Manager (下面称为 “CCM”), 在网络客户端模式中便可以使用 Sony QoS 技术的高质量流媒体。

注意


- 使用此功能前需要进行基本网络配置。
有关本机网络设置的详细信息, 请参阅操作指南中的 “配置无线 LAN”、“配置有线 LAN” 和 “重置网络设置”。

使用菜单进行配置

选择  (网络设置) 菜单 → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM 设定], 输入下列项目, 然后选择 OK。

- 主机名称: 已连接 CCM 的 IP 地址或主机名称。
- 端口: 已连接 CCM 的端口号
- 用户: 用户名
- 密码: 密码

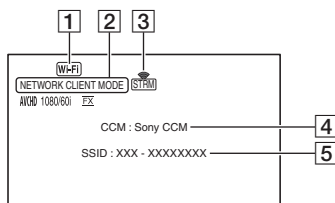
启动网络客户端模式

- 1 选择  (网络设置) → [NETWORK CLIENT MODE] → [执行]。

- 2 选择连接方法 (有线 / 无线)。

本机即会连接到 CCM。

在连接到 CCM 后, 即会启用流媒体。



- 1 Wi-Fi 或 LAN
 - 2 NETWORK CLIENT MODE
 - 3 流媒体状态指示
有关详细信息, 请参阅
“图标显示” (第 13 页)。
 - 4* CCM 名称 (在 CCM 端设置)
 - 5* 接入点的 SSID (选择无线时)
- * 4 和 5 仅在连接到 CCM 后才会立即显示。

⚡ 注意

- 有关在网络客户端模式下运行时的限制的详细信息, 请参阅“功能限制” (第 14 页)。

💡 提示

- 可以把网络客户端模式的开始/停止功能(NETWORK CLIENT MODE)指定给 ASSIGN 按钮。
- 流媒体数据的帧速率将根据原始文件的录制设定而不同。有关详细信息, 请参阅“网络客

户端模式支持的格式” (第 11 页)。

- 有关本机在网络客户端模式下支持的操作的详细信息, 请参阅“网络客户端模式操作和显示” (第 13 页)。

在网络客户端模式下开始 / 停止流媒体

流媒体的开始 / 停止由 CCM 控制。有关详细信息, 请参阅 CCM 的使用说明书。

CS

停止网络客户端模式

- 1 如果当前正在进行录制, 需要先停止录制。
(录制期间无法停止网络客户端模式。)
- 2 按下列按钮之一。
 - MENU 按钮
 - 指定了网络客户端模式开始/停止功能的 ASSIGN 按钮
- 3 在确认画面上选择 [是]。
此时网络客户端模式便会停止。

错误信息

如果在网络客户端模式操作期间出现问题，则可能会显示以下错误信息。请根据显示的信息采取措施。
另请参阅本机操作指南中的“错误信息”。

错误信息	解决方案
无法使用 WEP 进行验证。 密码错误或 IP 地址的自动获取失败。	检查密码（WEP 密钥）。检查接入点的 DHCP 设置。
无法使用 WEP 进行验证。 密码错误或 IP 地址设定错误。	检查密码（WEP 密钥）。检查本机的 IP 地址设置。
连接 CCM 失败。 检查“CCM SET”。	检查  （网络设置）菜单 → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM 设定] 设置。
获取 IP 地址失败。 检查 DNS 服务器设定或“CCM 设定”。	检查 CCM 主机名称是否正确。检查本机和接入点的 DNS 设置。
连接 CCM 失败。 检查“CCM 设定”或连接目的地设定。	检查本机的 CCM 设置，以及连接目的地的用户名、密码、端口号和其他设置。此外，检查网络连接状态。
连接 CCM 失败。 检查“日期和时钟设定”。	检查本机时钟是否设为正确时间。
连接 CCM 失败。	检查本机设置和 CCM 端的状态。

❗ 注意

流媒体数据的图像尺寸从 CCM 端设置。当 CCM 为 “HIGH” 时，尺寸为 1280×720 ；当 CCM 为 “LOW” 时，尺寸为 640×360 。

原始文件 (XAVC)			流媒体数据			
影像尺寸			1280×720		640×360	
	帧速率 (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大比特率 (Mbps)	6	6	3	3
3840×2160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1920×1080	60(50)p	50	是		是	
		35	是		是	
	60(50)i	50	是		是	
		35	是		是	
		25	是		是	
	30(25)p	50	是		是	
		35	是		是	
	24p	50		是		是
		35		是		是
1280×720	60(50)p	50	是		是	

CS

原始文件 (MPEG HD 422)			流媒体数据			
影像尺寸			1280×720		640×360	
	帧速率 (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大比特率 (Mbps)	6	6	3	3
1920×1080	60(50)i	50	是		是	
	30(25)p	50	是		是	
	24p	50		是		是
1280×720	60(50)p	50	是		是	

原始文件 (MPEG HD 420)			流媒体数据			
影像尺寸			1280 × 720		640 × 360	
	帧速率 (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大比特率 (Mbps)	6	6	3	3
1920 × 1080	60(50)i	HQ	是		是	
	30(25)p	HQ	是		是	
	24p	HQ		是		是
1440 × 1080	60(50)i	HQ	是		是	
1280 × 720	60(50)p	HQ	是		是	

原始文件 (AVCHD)			流媒体数据			
影像尺寸			1280 × 720		640 × 360	
	帧速率 (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		最大比特率 (Mbps)	6	6	3	3
1920 × 1080	60(50)p	PS				
	60(50)i	FX	是		是	
		FH	是		是	
	30(25)p	FX	是		是	
		FH	是		是	
	24p	FX		是		是
		FH		是		是
1280 × 720	60(50)p	FX				
		FH				
		HQ				

使用本机录制

按下 **START/STOP** 按钮（或手柄录制按钮）开始录制。

要停止录制，再次按此按钮。

本机的录制状态使用下列指示来显示。

STBY: 待机模式

REC: 录制

❗ 注意

在流媒体期间，不能使用 **SLOT SEL** 按钮切换当前插槽或者移除 / 插入媒体。

启用的功能

下列功能都已启用。使用硬件开关和按钮控制本机。不支持通过菜单操作。

- 变焦
- 对焦
- 流媒体音量调整
- 曝光调整（光圈、增益和快门速度）
- 白平衡

图标显示

图标	含义
	流媒体待机
	流媒体

限制	描述
因录制设置和状态而产生的限制	<p>下列设置或状态下不能执行网络客户端模式。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XAVC QFHD (4K) 模式 • AVCHD 1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p • 动画录制期间 • 动画播放期间 • THUMBNAIL 画面显示期间 • 使用 Wi-Fi 远程控制时 • 使用 S&Q MOTION 时
关于功能执行的限制 (不支持的功能)	<p>下列功能在网络客户端模式操作期间不能使用。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 菜单操作 • Wi-Fi 远程控制 • 同步 / 继续录制 • 代理录制 • 日期拍摄 • 斑马线 • 峰值 • 标记 • 人脸检测 • 彩条 • 数字延伸 • S&Q MOTION • NIGHTSHOT • FOCUS MAGNIFIER • 自动模式设置 • ONE PUSH WB (流媒体期间)
关于功能执行的限制 (受限制的功能)	<p>在网络客户端模式操作期间有下列限制。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仅当“飞行模式”为“开”时启用有线 LAN 连接。 • 以 XAVC QFHD (4K 模式) 录制时，视频输出目的地固定为寻像器和液晶屏 (寻像器 / 液晶面板)。

附加信息

2.00 版中提供下列关于功能的补充信息。

部分取消对高帧速率录制的限制

针对高帧速率录制的“黑色伽马固定为 0”的限制已经取消。

De nouvelles fonctions ont été ajoutées à votre caméscope par actualisation.

Ce document décrit les fonctions et les opérations correspondantes ajoutées dans la Ver. 2.00.

Lisez ce document ainsi que le « Mode d'emploi » du caméscope.

Fonctions ajoutées à la Ver. 2.00

- Enregistrement/lecture/sortie en High Dynamic Range (HDR)
 - Zebra 1 / zebra 2
 - Streaming de haute qualité utilisant NETWORK CLIENT MODE
 - Prise en charge des fonctions suivantes du mélangeur de production Live multicaméras MCX-500 (vendu séparément) et de la télécommande RM-30BP (vendue séparément)
 - Affichage de signalisation
 - Contrôle d'enregistrement depuis le MCX-500
- Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec le MCX-500 et RM-30BP.

Remarque



- Les informations personnelles importantes (informations de destination du streaming, informations de connexion au serveur FTP) sont mémorisées dans le caméscope lorsque vous utilisez les fonctions de réseau.
Exécutez l'une des actions suivantes lors du transfert de propriété ou de la mise au rebut du caméscope.
 - Menu  (OTHERS) → INITIALIZE
 - Menu  (NETWORK SET) → NETWORK RESET

Table des matières

High Dynamic Range (HDR) (Gamme dynamique élevée)

Prise de vue à l'aide du profil d'image compatible HDR	4
Options associées au profil d'image HDR	4
Utilisation de la fonction Aide affichage gamma	5
Lecture de la vidéo enregistrée en HDR sur le caméscope	6
Limites des fichiers HDR enregistrés dans des formats non XAVC	7

Zebra 1 / Zebra 2

Réglage du motif zébré	7
------------------------------	---

Streaming de haute qualité utilisant NETWORK CLIENT MODE

Configuring utilisant le menu	8
Démarrage du mode client en réseau	9
Démarrage/arrêt du streaming en mode client en réseau	9
Arrêt du mode client en réseau	9
Messages d'erreur	10
Formats pris en charge du mode client en réseau	11
Affichage et opérations du mode client en réseau	13
Limites des fonctions	14

Informations complémentaires

Retrait partiel des limites de l'enregistrement cadence d'images	15
--	----

FR


High Dynamic Range (HDR) (Gamme dynamique élevée)

La reproduction de la luminosité sur une plus grande gamme qu'auparavant est désormais prise en charge grâce à l'application du profil d'image compatible HDR. Le caméscope prend en charge Hybrid Log-Gamma (HLG), avec quatre réglages sélectionnables.

Le réglage [HLG] est équivalent à ITU-R BT.2100. Les réglages [HLG1], [HLG2] et [HLG3] permettent la reproduction d'images avec une gamme dynamique plus vaste sans images à l'apparence artificielle, comme cela peut se produire avec la reproduction d'images de caméra existante.

Prise de vue à l'aide du profil d'image compatible HDR

[PP10] a été ajouté pour la prise de vue en HDR.

- 1 Sélectionnez le menu  (CAMERA SET) → [PICTURE PROFILE] → [PP10].

Numéro du profil d'image	Réglage d'exemple
PP10	Réglage pour la prise de vue en HDR

Remarque

Les réglages de profil d'image sur le caméscope sont [PP1] à [PP6] et [PP10].

- 2 Ajustez les options du profil d'image, si nécessaire.

- 3 Appuyez sur la touche START/STOP (ou sur la touche d'enregistrement de la poignée).

Les vidéos filmées en HDR sont enregistrées sur la carte mémoire.

Remarques

- Pour l'enregistrement XAVC
Pour l'enregistrement vidéo HDR au format XAVC sur le caméscope, l'espace colorimétrique, le gamma et les autres métadonnées nécessaires pour la lecture et l'affichage HDR sont mémorisés dans le fichier vidéo.
Sur les périphériques utilisés pour la lecture et l'affichage prenant en charge les métadonnées, la vidéo s'affiche automatiquement avec les réglages appropriés. Sur les périphériques ne prenant pas en charge les métadonnées, la configuration manuelle est requise.
- Pour l'enregistrement AVCHD/enregistrement MPEG HD
Les enregistrements au format AVCHD et les enregistrements au format MPEG HD ne prennent pas en charge les métadonnées HDR. Pour une lecture et un affichage corrects de HDR, la configuration manuelle est requise.

Options associées au profil d'image HDR

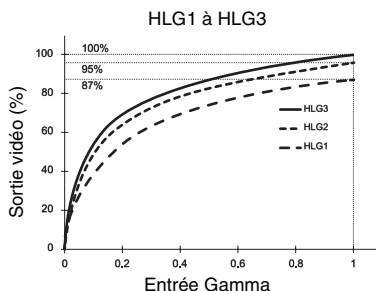
Les options suivantes ont été ajoutées.

Options [GAMMA]

(Réglage par défaut en gras)

Option	Description
[HLG]	Réglage équivalent à ITU-R BT.2100.
[HLG1]	Ce réglage offre une meilleure suppression de bruit que [HLG2]. Cependant, la gamme dynamique pouvant être capturée est plus étroite.
[HLG2]	Ce réglage offre un équilibre entre la gamme dynamique et la suppression de bruit.
[HLG3]	Ce réglage offre une gamme dynamique plus large que [HLG2]. Cependant, le niveau de bruit augmente.

Tous les réglages [HLG1], [HLG2] et [HLG3] utilisent la même caractéristique de courbe de gamma. Seules les caractéristiques de gamme dynamique et de suppression de bruit diffèrent.



Remarques

- La valeur maximale de la sortie vidéo varie en fonction de la sélection du réglage [HLG1], [HLG2] ou [HLG3] ([HLG1] : 87%, [HLG2] : 95%, [HLG3] : 100%). Un test de prise de vue préalable est recommandé afin d'éviter une perte de détails pendant la prise de vue réelle.
- Les limites suivantes s'appliquent lorsque [HLG], [HLG1], [HLG2] ou [HLG3] est sélectionné.
 - Si [MODE] est réglé sur AUTO pour [KNEE], le réglage [KNEE] est désactivé.
 - Seul [COLOR MODE] peut être réglé sur [BT.2020] ou [709].
 - Le réglage [BLACK GAMMA] est désactivé.
 - [AUTO BACK LIGHT] ne peut pas être utilisé.

Options [COLOR MODE]

(Réglage par défaut en gras)

Option	Description
[BT.2020]	Tonalité chromatique standard lorsque [HLG], [HLG1], [HLG2] ou [HLG3] est sélectionné pour [GAMMA].
[709]	Tonalité chromatique pour l'enregistrement couleur (BT.709) au format HDTV lorsque [HLG], [HLG1], [HLG2] ou [HLG3] est sélectionné pour [GAMMA].

Remarque


Les barres de couleurs ne sont pas émises correctement lorsque [BT.2020] est sélectionné.

Utilisation de la fonction Aide affichage gamma

Le viseur et l'écran LCD du caméscope ne prennent pas en charge HDR et par conséquent, ils ne conviennent pas pour afficher le format HDR. Cependant, ils peuvent afficher une image aidant à la prise de vue grâce à la fonction d'assistance pour l'affichage gamma.

La fonction d'assistance pour l'affichage gamma affecte uniquement la vidéo de surveillance ou la vidéo de lecture affichée sur le viseur ou l'écran LCD. La vidéo enregistrée et la vidéo émise ne sont pas affectées.

FR

- Sélectionnez le menu  (DISPLAY SET) → [GAMMA DISP ASSIST] → [ON/OFF] → [ON].
- Sélectionnez [GAMMA DISP ASSIST] → [TYPE].

3 Sélectionnez l'une des options suivantes.

(Réglage par défaut en gras)



Option	Description
[AUTO]	Écran de prise de vue : Corrige automatiquement l'image selon le réglage du profil d'image. Écran de lecture : Pour les fichiers AVCHD, MPEG HD, XAVC non HLG, corrige automatiquement l'image selon le réglage du profil d'image actuel. Pour les fichiers XAVC HLG, corrige automatiquement l'image selon le gamma et le mode de couleur de l'écran de lecture. Écran des vignettes : Maintient le dernier réglage (prise de vue/lecture).
[HLG (BT.2020)]	Applique la correction appropriée lorsque [GAMMA] est HLG et [COLOR MODE] est réglé sur [BT.2020].
[HLG(709)]	Applique la correction appropriée lorsque [GAMMA] est HLG et [COLOR MODE] est réglé sur [709].

💡 Astuces

- Lorsque le caméscope est alimenté par batterie, la modification de la luminosité de l'écran LCD rendra l'image HDR plus facile à surveiller. Dans le menu DISPLAY SET, sélectionnez [LCD BRIGHT] → [BRIGHT].
- Vous pouvez attribuer le réglage [GAMMA DISP ASSIST] ON/OFF à la touche ASSIGN.

Affichage d'icône

Lorsque la fonction d'assistance pour l'affichage gamma est sur ON, les icônes suivantes sont affichées sur l'écran de prise de vue et l'écran de lecture.

Icône	Signification
	[HLG(BT.2020)] en cours d'utilisation
	[HLG(709)] en cours d'utilisation

Lecture de la vidéo enregistrée en HDR sur le caméscope

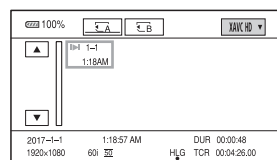
Vous pouvez lire de la vidéo enregistrée en HDR sur le caméscope.

Lors de la lecture de fichiers enregistrés au format XAVC QFHD ou XAVC HD, une icône « HLG » s'affiche sur l'écran des vignettes et l'écran de lecture (consultez les schémas suivants).

🔍 Remarques

- Aucune icône « HLG » ne s'affiche lors de la lecture de fichiers au format AVCHD ou MPEG HD enregistrés en HDR.
- La sortie HDMI et la sortie SDI ne prennent pas en charge les métadonnées HDR. Pour un affichage correct de HDR, la configuration manuelle est requise.

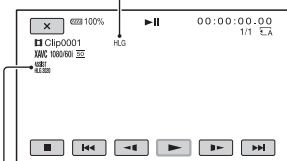
Écran des vignettes



Icône « HLG »*

* Seuls les fichiers enregistrés au format XAVC.

Icône « HLG »*



Icône d'assistance pour l'affichage gamma

* Seuls les fichiers enregistrés au format XAVC.

Limites des fichiers HDR enregistrés dans des formats non XAVC

Les limites suivantes s'appliquent aux fichiers enregistrés dans d'autres formats que XAVC-QFHD ou XAVC HD.


- L'enregistrement utilisant HLG n'est pas archivé dans les métadonnées.
- L'icône « HLG » ne s'affiche pas sur l'écran des vignettes et l'écran de lecture.

Zebra 1 / Zebra 2

La fonction de motif zébré de cette version a été améliorée. Elle vous permet de sélectionner les deux types de réglages suivants. Par ailleurs, il est également possible de régler les niveaux par incréments de 1%.

- Zebra 1 : Réglage d'un niveau et d'une plage de référence pour l'affichage du motif zébré.
- Zebra 2 : Affichage du motif zébré supérieur au niveau défini.

Réglage du motif zébré

Sélectionnez le menu  (DISPLAY SET) → [ZEBRA], et réglez les options suivantes.



(Réglage par défaut en gras)

Option	Réglages
[ZEBRA SELECT]	OFF , ZEBRA1, ZEBRA2
[ZEBRA1 LEVEL] *1	0% à 109% (incrément de 1%) (70%)
[ZEBRA1 APERTURE LEVEL] *2	2% à 20% (incrément de 2%) (10%)
[ZEBRA2 LEVEL] *3	0% à 109% (incrément de 1%) (100%)

*1 Niveau Zebra 1 (niveau de référence)

*2 Plage Zebra 1

*3 Niveau Zebra 2 (niveau minimum)

Lorsque ZEBRA1 ou ZEBRA2 est sélectionné, l'icône  ou  apparaît.

Remarques

- Zebra 1 et zebra 2 ne peuvent pas être affichés en même temps.
- Zebra n'est pas enregistré sur la carte mémoire.
- Lorsque [ZEBRA SELECT] est sur OFF, le point du motif zébré de l'histogramme n'est pas affiché, même si [HISTOGRAM] est réglé sur

[ON[ZEBRA POINT]] dans le menu DISPLAY SET.



Astuce

- Vous pouvez attribuer [ZEBRA] à une touche ASSIGN. Le réglage bascule sur OFF → ZEBRA1 → ZEBRA2 à chaque fois que vous appuyez sur la touche.

Streaming de haute qualité utilisant NETWORK CLIENT MODE

Le streaming de haute qualité utilisant la technologie Sony QoS est pris en charge en mode client en réseau en connectant une Sony PWS-100RX1 Network RX Station (vendue séparément) agissant comme un gestionnaire de contrôle de connexion (ci-après, « CCM »).



Remarque

- Une configuration de réseau de base est requise avant l'utilisation de cette fonction. Pour les détails sur les réglages réseau du caméscope, reportez-vous à « Configuration d'un réseau sans fil LAN », « Configuration d'un LAN câblé » et « Réinitialisation des paramètres réseau » dans le mode d'emploi.

Configuring utilisant le menu

Sélectionnez le menu  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET], saisissez les options suivantes, et sélectionnez OK.

- Host Name : Adresse IP ou nom de l'hôte du CCM connecté
- Port : Numéro de port du CCM connecté
- User : Nom de l'utilisateur
- Password : Mot de passe

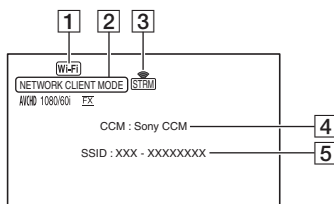
Démarrage du mode client en réseau

1 Sélectionnez  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [EXECUTE].

2 Sélectionnez la méthode de connexion (filaire/sans fil).

Le caméscope se connecte au CCM.

Le streaming est activé après la connexion au CCM.



- 1 Wi-Fi ou LAN
- 2 NETWORK CLIENT MODE
- 3 Indicateur de l'état de streaming
Pour plus de détails, reportez-vous à « Affichage d'icône » (page 13).

- 4 *CCM (réglé côté CCM)
- 5 *SSID du point d'accès (lorsque le sans fil est sélectionné)

* 4 et 5 ne sont affichés qu'immédiatement après la connexion au CCM.

Remarque

- Pour les détails sur les limites en mode client en réseau, reportez-vous à « Limites des fonctions » (page 14).

Astuces

- Vous pouvez attribuer la fonction démarrage/arrêt du mode client en réseau (NETWORK CLIENT MODE) à une touche ASSIGN.
- La fréquence d'images des données de streaming varie en fonction des réglages d'enregistrement du fichier d'origine. Pour plus de détails, reportez-vous à « Formats pris en charge du mode client en réseau » (page 11).

- Pour les détails sur les opérations prises en charge dans le caméscope en mode client en réseau, reportez-vous à « Affichage et opérations du mode client en réseau » (page 13).

Démarrage/arrêt du streaming en mode client en réseau

Le streaming est démarré/arrêté par le CCM. Pour plus de détails, reportez-vous aux instructions du CCM.

Arrêt du mode client en réseau

1 Arrêt de l'enregistrement, si enregistrement en cours.
(Le mode client en réseau ne peut pas être arrêté en cours d'enregistrement.)

2 Appuyez sur l'une des touches suivantes.

- Touche MENU
- Touche ASSIGN attribuée avec la fonction de démarrage/arrêt du mode client en réseau

3 Sélectionnez [YES] sur l'écran de confirmation.


Le mode client en réseau s'arrête.

FR

Messages d'erreur

Lorsque des problèmes surviennent pendant l'opération de mode client en réseau, les messages d'erreur suivants peuvent s'afficher. Prenez les mesures adaptées en fonction du message affiché.

Reportez-vous aussi à « Messages d'erreur » dans le mode d'emploi du caméscope.

Messages d'erreur	Solution
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or automatic acquisition of an IP address has failed.	Vérifiez le mot de passe (clé WEP). Vérifiez les réglages DHCP du point d'accès.
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or the IP address setting is wrong.	Vérifiez le mot de passe (clé WEP). Vérifiez le réglage IP address du caméscope.
Failed to connect to the CCM. Check the "CCM SET".	Vérifiez le menu  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET].
Failed to acquire an IP address. Check the DNS server setting or the "CCM SET".	Vérifiez que le nom d'hôte CCM est correct. Vérifiez les réglages DNS du caméscope et du point d'accès.
Failed to connect to the CCM. Check "CCM SET" or the settings of the connection destination.	Vérifiez le réglage CCM du caméscope, le nom d'utilisateur, le numéro de port et d'autres réglages de la destination connectée. De même, vérifiez l'état de la connexion réseau.
Failed to connect to the CCM. Check the "CLOCK SET".	Vérifiez que l'horloge du caméscope est réglée sur l'heure correcte.
Failed to connect to the CCM.	Vérifiez les réglages du caméscope et l'état côté CCM.

Formats pris en charge du mode client en réseau

Remarque

La taille d'image des données de streaming est réglée côté CCM. La taille est de 1 280×720 lorsque CCM est HIGH et 640×360 lorsque CCM est LOW.

Fichier original (XAVC)			Données de streaming			
Taille d'image			1 280×720		640×360	
	Fréquence d'images (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Débit binaire maximal (Mbps)	6	6	3	3
3 840×2 160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1 920×1 080	60(50)p	50	Oui		Oui	
		35	Oui		Oui	
	60(50)i	50	Oui		Oui	
		35	Oui		Oui	
		25	Oui		Oui	
	30(25)p	50	Oui		Oui	
		35	Oui		Oui	
	24p	50		Oui		Oui
		35		Oui		Oui
	60(50)p	50	Oui		Oui	
1 280×720	60(50)p	50	Oui		Oui	

Fichier original (MPEG HD 422)			Données de streaming			
Taille d'image			1 280×720		640×360	
	Fréquence d'images (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Débit binaire maximal (Mbps)	6	6	3	3
1 920×1 080	60(50)i	50	Oui		Oui	
	30(25)p	50	Oui		Oui	
	24p	50		Oui		Oui
1 280×720	60(50)p	50	Oui		Oui	

FR

Fichier original (MPEG HD 420)			Données de streaming			
Taille d'image			1 280×720		640×360	
	Fréquence d'images (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Débit binaire maximal (Mbps)	6	6	3	3
1 920×1 080	60(50)i	HQ	Oui		Oui	
	30(25)p	HQ	Oui		Oui	
	24p	HQ		Oui		Oui
1 440×1 080	60(50)i	HQ	Oui		Oui	
1 280×720	60(50)p	HQ	Oui		Oui	

Fichier original (AVCHD)			Données de streaming					
Taille d'image			1 280×720		640×360			
			Fréquence d'images (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
			Débit binaire maximal (Mbps)	6	6	3	3	
1 920×1 080	60(50)p	PS						
		FX	Oui		Oui			
	30(25)p	FH	Oui		Oui			
		FX	Oui		Oui			
		FH	Oui		Oui			
	24p	FX		Oui		Oui		
		FH		Oui		Oui		
	1 280×720	60(50)p	FX					
FH								
HQ								

Enregistrement à l'aide du caméscope

Appuyez sur la touche START/STOP (ou sur la touche d'enregistrement de la poignée) pour démarrer l'enregistrement.

Pour arrêter l'enregistrement, appuyez de nouveau sur la touche.

L'état d'enregistrement du caméscope est affiché à l'aide des indicateurs suivants.

STBY : Mode d'attente

REC : Enregistrement

Remarque



Pendant le streaming, la commutation de la fente actuelle en utilisant la touche SLOT SEL ou en retirant/insérant le support n'est pas possible.

Fonctions activées

Les fonctions suivantes sont activées. Utilisez les commutateurs et les touches de matériels pour contrôler le caméscope. Le fonctionnement à partir du menu n'est pas pris en charge.

- Zoom
- Mise au point
- Réglage du volume du streaming
- Réglage de l'exposition (diaphragme, gain et vitesse d'obturation)
- Balance des blancs

Affichage d'icône

Icône	Signification
	Mise en attente du streaming
	Streaming

Limites des fonctions

Limites	Description
Limites dues aux réglages d'enregistrement et à l'état	<p>Le mode client en réseau ne peut pas être exécuté avec les réglages ou états suivants.</p> <ul style="list-style-type: none">• Mode XAVC QFHD (4K)• AVCHD 1080/60p, 1080/50p, 720/60p, 720/50p• Pendant l'enregistrement d'une vidéo• Pendant la lecture d'une vidéo• Pendant l'affichage de l'écran THUMBNAİL• Pendant l'utilisation de commande à distance Wi-Fi• Lors de l'utilisation de S&Q MOTION
Limites de l'exécution de fonctions (fonctions non prises en charge)	<p>Les fonctions suivantes ne peuvent pas être utilisées pendant le fonctionnement en mode client en réseau.</p> <ul style="list-style-type: none">• Opérations de menu• Commande à distance Wi-Fi• SIMUL/RELAY REC• Enregistrement proxy• DATE REC• ZEBRA• PEAKING• MARKER• FACE DETECTION• COLOR BAR• D. EXTENDER• S&Q MOTION• NIGHTSHOT• FOCUS MAGNIFIER• AUTO MODE SET• ONE PUSH WB (pendant le streaming)
Limites de l'exécution de fonctions (fonctions limitées)	<p>Les limites de fonctions s'appliquent pendant le fonctionnement en mode client en réseau.</p> <ul style="list-style-type: none">• Seule la connexion LAN câblée est activée lorsque AIRPLANE MODE est sur ON.• La destination de la sortie vidéo pendant l'enregistrement en XAVC QFHD (mode 4K) est figée sur le viseur et l'écran LCD (VF/LCD PANEL).

Informations complémentaires

Les informations complémentaires suivantes sont fournies pour les fonctions de la Ver. 2.00.

Retrait partiel des limites de l'enregistrement cadence d'images

La limite pour « Black gamma est réglé sur 0 » de l'enregistrement cadence d'images a été supprimée.



FR

Durch das Update wurden Ihrem Camcorder neue Funktionen hinzugefügt. Dieses Dokument beschreibt die in Version 2.00 hinzugefügten Funktionen und ihre Bedienung. Lesen Sie dieses Dokument zusammen mit der Bedienungsanleitung des Camcorders.

Mit Version 2.00 hinzugefügte Funktionen

- Aufnahme, Wiedergabe und Ausgabe in High Dynamic Range (HDR)
 - Zebra 1 / Zebra 2
 - Streaming in hoher Qualität im NETWORK CLIENT MODE
 - Unterstützung für die folgenden Funktionen des MCX-500 Multi-Camera Live Producer und der Fernbedienung RM-30BP (beide separat erhältlich)
 - Tally-Anzeige
 - Aufnahmesteuerung vom MCX-500 aus
- Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung der Geräte MCX-500 und RM-30BP.

⚡ Hinweis

- Wenn Sie Netzwerkfunktionen verwenden, werden wichtige persönliche Informationen (Informationen zum Streaming-Ziel, Anmeldedaten für den FTP-Server usw.) im Camcorder gespeichert. Führen Sie daher vor der Übertragung des Eigentums am Camcorder oder seiner Entsorgung eine der folgenden Maßnahmen durch:
 - Menü  (OTHERS) → INITIALIZE
 - Menü  (NETWORK SET) → NETWORK RESET

Inhaltsverzeichnis

High Dynamic Range (HDR)

Aufnahmen mit HDR-kompatiblen Bildprofil	4
Bildprofil-Elemente für HDR	4
Verwenden der Funktion Gamma-Anzeigenassistent	5
Wiedergeben von in HDR aufgezeichneten Videos auf dem Camcorder	6
Einschränkungen bei in Nicht-XAVC-Formaten aufgezeichneten HDR-Dateien	7

Zebra 1/Zebra 2

Einstellen der Zebra-Funktion	7
-------------------------------------	---

Streaming in hoher Qualität im NETWORK CLIENT MODE

Konfigurieren mithilfe des Menüs	8
Starten des Netzwerkclientmodus	9
Starten und Stoppen des Streaming im Netzwerkclientmodus	9
Stoppen des Netzwerkclientmodus	9
Fehlermeldungen	10
Unterstützte Formate im Netzwerkclientmodus	11
Funktionen und Anzeige im Netzwerkclientmodus	13
Funktionseinschränkungen	14

Weitere Informationen


Teilweise Aufhebung von Einschränkungen bei Aufzeichnungen mit hoher Bildfrequenz	15
--	----

High Dynamic Range (HDR)

Durch die Anwendung HDR-kompatibler Bildprofile wird die Wiedergabe der Helligkeit über einen größeren Bereich als bisher verfügbar unterstützt. Der Camcorder unterstützt Hybrid Log-Gamma (HLG) mit vier auswählbaren Einstellungen. Die Einstellung [HLG] entspricht ITU-R BT.2100. Die Einstellungen [HLG1], [HLG2] und [HLG3] ermöglichen die Wiedergabe von Bildern mit einem breiteren Dynamikbereich, ohne dass diese ein unnatürliches Aussehen erhalten, wie es bei herkömmlichen Arten der Wiedergabe von Kamerabildern geschehen kann.

Aufnahmen mit HDR-kompatiblem Bildprofil

Für Aufnahmen in HDR wurde [PP10] hinzugefügt.

- 1 Wählen Sie im Menü  (CAMERA SET) → [PICTURE PROFILE] → [PP10].

Bildprofil-Nummer	Beispieleinstellung
PP10	Einstellung für Aufnahmen in HDR

Hinweis

Die Bildprofileinstellungen auf dem Camcorder sind [PP6] bis [PP1] und [PP10].

- 2 Stellen Sie die Bildprofiloptionen nach Bedarf ein.
- 3 Drücken Sie die Taste START/STOP (oder die Aufnahmetaste am Griff).

In HDR aufgenommene Filme werden auf der Speicherkarte aufgezeichnet.

Hinweise

• Für XAVC-Aufnahmen

Bei Aufnahmen von HDR-Video im XAVC-Format auf dem Camcorder werden der Farbraum, die Gammaeinstellung und andere für die Wiedergabe und Anzeige in HDR erforderliche Metadaten in der Videodatei gespeichert.

Auf zur Wiedergabe und Anzeige verwendeten Geräten, die die Metadaten unterstützen, wird das Video automatisch mit den entsprechenden Einstellungen angezeigt. Auf Geräten, die die Metadaten nicht unterstützen, ist eine manuelle Konfiguration erforderlich.

• Für AVCHD-Aufnahmen/MPEG-HD-Aufnahmen

Aufnahmen im AVCHD- und MPEG-HD-Format unterstützen keine HDR-Metadaten. Für die korrekte Wiedergabe und Anzeige von HDR ist eine manuelle Konfiguration erforderlich.

Bildprofil-Elemente für HDR

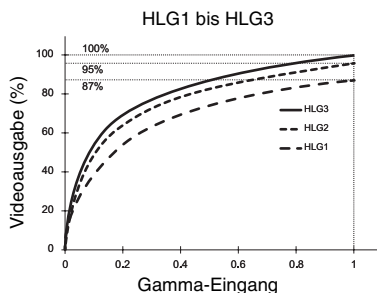
Die folgenden Optionen wurden hinzugefügt.

[GAMMA]-Optionen

(Standardeinstellung fett gedruckt)

Option	Beschreibung
[HLG]	Die Einstellung entspricht ITU-R BT.2100.
[HLG1]	Einstellung mit stärkerer Rauschunterdrückung als [HLG2]. Der aufzeichnungsfähige Dynamikumfang ist jedoch enger.
[HLG2]	Einstellung, die einen Kompromiss zwischen Dynamikumfang und Rauschunterdrückung bietet.
[HLG3]	Einstellung mit breiterem Dynamikumfang als [HLG2], allerdings auch höherem Rauschpegel.

[HLG1], [HLG2] und [HLG3] verwenden die gleiche Gammakurven-Charakteristik. Sie unterscheiden sich nur in der Charakteristik des Dynamikumfangs und der Rauschunterdrückung.



⚙️ Hinweise

- Der maximale Wert der Videoausgabe variiert je nachdem, ob [HLG1], [HLG2] oder [HLG3] ausgewählt ist ([HLG1]: 87%, [HLG2]: 95%, [HLG3]: 100%). Es wird empfohlen, Probeaufnahmen durchzuführen, um den Verlust von Bilddetails bei der tatsächlichen Aufnahme zu vermeiden.
- Die folgenden Einschränkungen gelten, wenn [HLG], [HLG1], [HLG2] oder [HLG3] ausgewählt ist.
 - Wenn die Option [MODE] für [KNEE] auf AUTO eingestellt ist, ist die Einstellung [KNEE] deaktiviert.
 - [COLOR MODE] kann nur auf [BT.2020] oder [709] gesetzt werden.
 - Die Einstellung [BLACK GAMMA] ist deaktiviert.
 - [AUTO BACK LIGHT] kann nicht verwendet werden.

[COLOR MODE]-Optionen

(Standardeinstellung fett gedruckt)

Option	Beschreibung
[BT.2020]	Standardfarbton, wenn [HLG], [HLG1], [HLG2] oder [HLG3] für [GAMMA] ausgewählt wurde.
[709]	Farbton für Aufnahmen von Farbe im HDTV-Format (BT.709), wenn [HLG], [HLG1], [HLG2] oder [HLG3] für [Gamma] ausgewählt ist.


⚙️ Hinweis

Farbbalken werden nicht korrekt ausgegeben, wenn [BT.2020] ausgewählt ist.

Verwenden der Funktion Gamma-Anzeigenassistent

Sucher und LCD-Bildschirm des Camcorders unterstützen HDR nicht und sind daher nicht für die Anzeige von HDR geeignet. Mit der Gamma-Anzeigeunterstützung können sie jedoch ein Bild zur besseren Beurteilung der Aufnahme anzeigen.

Die Gamma-Anzeigeunterstützung wirkt sich nur auf das im Sucher oder LCD-Bildschirm angezeigte Kontrollbild aus. Sie hat keine Auswirkung auf das aufgezeichnete Video und den Videoausgang.

- 1 Wählen Sie im Menü  (DISPLAY SET) die Option → [GAMMA DISP ASSIST] → [ON/OFF] → [ON].
- 2 Wählen Sie [GAMMA DISP ASSIST] → [TYPE].

DE

3 Wählen Sie eine der folgenden Optionen aus.

(Standardeinstellung fett gedruckt)



Option	Beschreibung
[AUTO]	Aufnahmebildschirm: Korrigiert automatisch das Bild entsprechend der Bildprofileinstellung. Wiedergabebildschirm: Korrigiert bei Nicht-HLG-Dateien der Formate AVCHD, MPEG HD und XAVC automatisch das Bild entsprechend der aktuellen Bildprofileinstellung. Bei XAVC HLG-Dateien korrigiert die Einstellung automatisch das Bild entsprechend dem Gamma- und Farbmodus des Wiedergabebildschirms. Miniaturbildanzeige: Behält die aktuelle Einstellung (Aufnahme/Wiedergabe) bei.
[HLG (BT.2020)]	Wendet eine geeignete Korrektur an, wenn [GAMMA] auf HLG und [COLOR MODE] auf [BT.2020] eingestellt ist.
[HLG(709)]	Wendet eine geeignete Korrektur an, wenn [GAMMA] auf HLG und [COLOR MODE] auf [709] eingestellt ist.

Tipps

- Wenn der Camcorder mit dem Akku betrieben wird, kann die Kontrolle des HDR-Bilds durch eine Veränderung der Helligkeit des LCD-Bildschirms erleichtert werden. Wählen Sie im Menü DISPLAY SET die Option [LCD BRIGHT] → [BRIGHT].
- Sie können die Einstellung ON/OFF für [GAMMA DISP ASSIST] einer ASSIGN-Taste zuweisen.

Angezeigte Symbole

Wenn die Gamma-Anzeigeunterstützung aktiviert ist, werden auf dem Aufnahmebildschirm und dem Wiedergabebildschirm die folgenden Symbole angezeigt.

Symbol	Bedeutung
	[HLG(BT.2020)] wird verwendet
	[HLG(709)] wird verwendet

Wiedergeben von in HDR aufgezeichneten Videos auf dem Camcorder

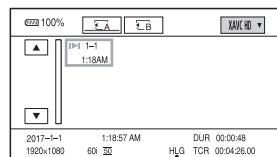
Sie können in HDR aufgezeichnete Videos auf dem Camcorder wiedergeben.

Bei der Wiedergabe von Dateien im XAVC QFHD- oder XAVC HD-Format wird in der Skizzenanzeige und auf dem Wiedergabebildschirm das Symbol „HLG“ angezeigt (siehe folgende Abbildungen).

Hinweise

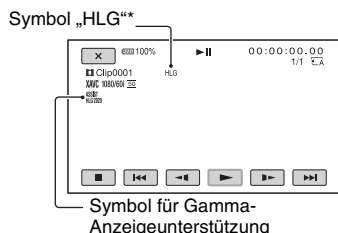
- Das Symbol „HLG“ wird nicht angezeigt, wenn in HDR aufgezeichnete Dateien im AVCHD- oder MPEG HD-Format wiedergegeben werden.
- Der HDMI-Ausgang und der SDI-Ausgang unterstützen keine HDR-Metadaten. Für die korrekte Anzeige von HDR ist eine manuelle Konfiguration erforderlich.

Miniaturbildanzeige



Symbol „HLG“

* Nur im XAVC-Format aufgezeichnete Dateien.



* Nur im XAVC-Format aufgezeichnete Dateien.

Einschränkungen bei in Nicht-XAVC-Formaten aufgezeichneten HDR-Dateien

Die folgenden Einschränkungen gelten für Aufnahmen in anderen Formaten als XAVC-QFHD oder XAVC HD.

- Die für die Aufnahme verwendete HLG-Einstellung wird nicht in den Metadaten gespeichert.
- In der Miniaturbildanzeige und auf dem Wiedergabebildschirm wird nicht das Symbol „HLG“ angezeigt.

Zebra 1/Zebra 2

Die Zebrafunktion wurde in dieser Version erweitert und ermöglicht die Auswahl der folgenden zwei Einstellungsarten.

Außerdem kann der Wert jetzt in Schritten von 1% eingestellt werden.

- Zebra 1: Referenzwert und Bereich für Anzeige des Zebra-Musters einstellen.
- Zebra 2: Bei Überschreitung eines eingestellten Werts Zebra-Muster anzeigen.

Einstellen der Zebra-Funktion

Wählen Sie im Menü (DISPLAY SET) die Option → [ZEBRA] und nehmen Sie die folgenden Einstellungen vor.

(Standardeinstellung fett gedruckt)

Option	Einstellungen
[ZEBRA SELECT]	OFF , ZEBRA1, ZEBRA2
[ZEBRA1 LEVEL] *1	0% bis 109% (in Schritten von 1%) (70%)
[ZEBRA1 APERTURE LEVEL] *2	2% bis 20% (in Schritten von 2%) (10%)
[ZEBRA2 LEVEL] *3	0% bis 109% (in Schritten von 1%) (100%)

*1 Wert von Zebra 1 (Referenzwert)

*2 Bereich von Zebra 1

*3 Wert von Zebra 2 (Minimalwert)

Wenn ZEBRA1 oder ZEBRA2 ausgewählt ist, wird das Symbol bzw. angezeigt.

Hinweise

- Zebra 1 und Zebra 2 können nicht gleichzeitig angezeigt werden.
- Das Zebromuster wird nicht auf der Speicherkarte aufgezeichnet.

- Wenn [ZEBRA SELECT] auf OFF gestellt ist, wird der Zebra-Punkt des Histogramms nicht angezeigt, auch wenn [HISTOGRAM] im Menü DISPLAY SET auf [ON[ZEBRA POINT]] eingestellt ist.

Tipp

- Sie können [ZEBRA] einer ASSIGN-Taste zuweisen. Mit jeder Betätigung der Taste wechselt die Einstellung in der Reihenfolge OFF → ZEBRA1 → ZEBRA2.


Streaming in hoher Qualität im NETWORK CLIENT MODE

Sie können Daten mit hoher Qualität unter Verwendung der Sony QoS-Technologie im Netzwerkclientmodus streamen, wenn Sie eine Netzwerk-RX-Station Sony PWS-100RX1 (separat erhältlich) als Connection Control Manager (CCM) anschließen.

Hinweis

- Vor der Verwendung dieser Funktion muss die grundlegende Konfiguration des Netzwerks abgeschlossen sein.
Zu Details zu den Netzwerkeinstellungen des Camcorders siehe „Konfigurieren eines WLAN“, „Konfigurieren eines kabelgebundenen LAN“ und „Zurücksetzen der Netzwerkeinstellungen“ in der Bedienungsanleitung.

Konfigurieren mithilfe des Menüs

Wählen Sie im Menü  (NETWORK SET) die Option → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET], nehmen Sie folgende Eingaben vor und wählen Sie OK.

- Host Name: IP-Adresse oder Hostname des angeschlossenen CCM
- Port: Portnummer des angeschlossenen CCM
- User: Benutzername
- Password: Kennwort

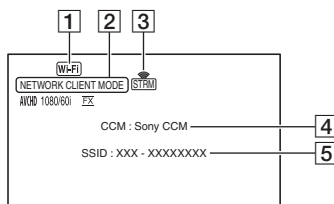
Starten des Netzwerkclientmodus

- 1 Wählen Sie  (NETWORK SET)
→ [NETWORK CLIENT MODE]
→ [EXECUTE].

- 2 Wählen Sie die Verbindungsmethode: wired (kabelgebunden) oder wireless (kabellos).

Der Camcorder stellt die Verbindung zum CCM her.

Nachdem eine Verbindung mit dem CCM hergestellt wurde, wird das Streaming aktiviert.



- 1 Wi-Fi oder LAN
 - 2 NETWORK CLIENT MODE
 - 3 Streamingstatus-Anzeige Einzelheiten siehe „Angezeigte Symbole“ (Seite 13).
 - 4 *CCM-Name (am CCM festgelegt)
 - 5 *SSID des Access Point (wenn wireless ausgewählt ist)
- * 4 und 5 werden nur unmittelbar nach dem Herstellen der Verbindung zum CCM angezeigt.

Hinweis

- Einzelheiten zu Einschränkungen beim Betrieb im Netzwerkclientmodus siehe „Funktionseinschränkungen“ (Seite 14).

Tipps

- Sie können die Funktion zum Starten und Stoppen des Netzwerkclientmodus (NETWORK CLIENT MODE) einer ASSIGN-Taste zuweisen.

- Die Bildfrequenz der Streaming-Daten variiert in Abhängigkeit von den Aufnahmeeinstellungen der Originaldatei. Näheres dazu finden Sie unter „Unterstützte Formate im Netzwerkclientmodus“ (Seite 11).
- Einzelheiten zu den im Netzwerkclientmodus unterstützten Funktionen siehe „Funktionen und Anzeige im Netzwerkclientmodus“ (Seite 13).

Starten und Stoppen des Streaming im Netzwerkclientmodus

Das Streaming wird durch den CCM gestartet und gestoppt.

Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung des CCM.

Stoppen des Netzwerkclientmodus

- 1 Beenden Sie gegebenenfalls eine laufende Aufzeichnung. (Der Netzwerkclientmodus kann nicht während der Aufnahme gestoppt werden).

- 2 Drücken Sie eine der folgenden Tasten:

- Taste MENU
- ASSIGN-Taste, der die Funktion zum Starten und Stoppen des Netzwerkclientmodus zugewiesen wurde

- 3 Wählen Sie [YES] auf dem Bestätigungsbildschirm.


Der Netzwerkclientmodus wird gestoppt.

DE

Fehlermeldungen

Bei Problemen im Netzwerkclientmodus können die folgenden Fehlermeldungen angezeigt werden. Ergreifen Sie Maßnahmen entsprechend der angezeigten Meldung.

Siehe auch den Abschnitt „Fehlermeldungen“ in der Bedienungsanleitung des Camcorders.

Fehlermeldung	Lösung
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or automatic acquisition of an IP address has failed.	Kennwort (WEP-Schlüssel) überprüfen. DHCP-Einstellungen des Access Point prüfen.
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or the IP address setting is wrong.	Kennwort (WEP-Schlüssel) überprüfen. „IP address“ des Camcorders prüfen.
Failed to connect to the CCM. Check the “CCM SET”.	Überprüfen Sie die Einstellungen im Menü  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET].
Failed to acquire an IP address. Check the DNS server setting or the “CCM SET”.	Sicherstellen, dass der CCM-Hostname korrekt angegeben wurde. DNS-Einstellungen des Camcorders und Access Points prüfen.
Failed to connect to the CCM. Check “CCM SET” or the settings of the connection destination.	CCM-Einstellung des Camcorders sowie Benutzernamen, Kennwort, Portnummer und andere Einstellungen des angeschlossenen Ziels prüfen. Weiterhin den Netzwerkverbindungsstatus prüfen.
Failed to connect to the CCM. Check the “CLOCK SET”.	Sicherstellen, dass die Uhr des Camcorders auf die richtige Uhrzeit eingestellt ist.
Failed to connect to the CCM.	Camcordereinstellungen und Status des CCM prüfen.

Unterstützte Formate im Netzwerkclientmodus

Hinweis

Die Bildgröße von Streaming-Daten wird am CCM eingestellt. Wenn das CCM auf HIGH gesetzt ist, beträgt die Bildgröße 1.280×720, wenn CCM auf LOW gesetzt ist, 640×360.

Originaldatei (XAVC)			Streaming-Daten			
Bildgröße			1.280×720		640×360	
	Bildfrequenz (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximale Bitrate (Mbit/s)	6	6	3	3
3.840×2.160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1.920×1.080	60(50)p	50	Ja		Ja	
		35	Ja		Ja	
	60(50)i	50	Ja		Ja	
		35	Ja		Ja	
		25	Ja		Ja	
	30(25)p	50	Ja		Ja	
		35	Ja		Ja	
	24p	50		Ja		Ja
		35		Ja		Ja
	60(50)p	50	Ja		Ja	

DE

Originaldatei (MPEG HD 422)			Streaming-Daten			
Bildgröße			1.280×720		640×360	
	Bildfrequenz (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximale Bitrate (Mbit/s)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)i	50	Ja		Ja	
	30(25)p	50	Ja		Ja	
	24p	50		Ja		Ja
1.280×720	60(50)p	50	Ja		Ja	

Originaldatei (MPEG HD 420)			Streaming-Daten			
Bildgröße			1.280×720		640×360	
	Bildfrequenz (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximale Bitrate (Mbit/s)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)i	HQ	Ja		Ja	
	30(25)p	HQ	Ja		Ja	
	24p	HQ		Ja		Ja
1.440×1.080	60(50)i	HQ	Ja		Ja	
1.280×720	60(50)p	HQ	Ja		Ja	

Originaldatei (AVCHD)			Streaming-Daten			
Bildgröße			1.280×720		640×360	
	Bildfrequenz (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Maximale Bitrate (Mbit/s)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)p	PS				
		FX	Ja		Ja	
		FH	Ja		Ja	
	30(25)p	FX	Ja		Ja	
		FH	Ja		Ja	
	24p	FX		Ja		Ja
		FH		Ja		Ja
1.280×720	60(50)p	FX				
		FH				
		HQ				

Aufnahme mit dem Camcorder

Drücken Sie die Taste START/STOP (oder die Aufnahmetaste am Griff), um die Aufnahme zu starten.

Um die Aufzeichnung zu beenden, drücken Sie die Taste erneut.

Der Aufnahmestatus des Camcorders wird mit folgenden Anzeigen angegeben.

STBY: Bereitschaftsmodus

REC: Aufnahme

Hinweis



Während des Streamings ist der Wechsel des aktuellen Einschubs mit der Taste SLOT SEL oder das Entfernen bzw. Einsetzen von Medien nicht möglich.

Aktivierte Funktionen

Die folgenden Funktionen sind aktiviert. Verwenden Sie die Hardware-Schalter und Tasten, um den Camcorder zu steuern. Die Bedienung über das Menü wird nicht unterstützt.

- Zoomen
- Fokussieren
- Einstellung der Streaminglautstärke
- Belichtungseinstellung (Blende, Gain-Wert und Verschlusszeit)
- Weißabgleich

Angezeigte Symbole

Symbol	Bedeutung
	Streaming-Bereitschaft
	Streaming

DE

Funktionseinschränkungen

Einschränkung	Beschreibung
Einschränkungen aufgrund der Aufnahmeeinstellungen und des Status	<p>Der Netzwerkclientmodus kann bei folgenden Einstellungen oder Zuständen nicht aktiviert werden.</p> <ul style="list-style-type: none"> • XAVC QFHD (4K)-Modus • AVCHD 1080/60p, 1080/50p, 720/60p, 720/50p • Beim Aufnehmen eines Films • Beim Wiedergeben eines Films • Während der Anzeige des THUMBNAIL-Bildschirms • Bei Verwendung der Wi-Fi-Fernbedienung • Bei Verwendung von S&Q MOTION
Einschränkungen bei der Ausführung von Funktionen (nicht unterstützte Funktionen)	<p>Die folgenden Funktionen können im Netzwerkclientmodus nicht verwendet werden.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Menüfunktionen • Wi-Fi-Fernbedienung • SIMUL/RELAY REC • Proxy-Aufnahme • DATE REC • ZEBRA • PEAKING • MARKER • FACE DETECTION • COLOR BAR • D. EXTENDER • S&Q MOTION • NIGHTSHOT • FOCUS MAGNIFIER • AUTO MODE SET • ONE PUSH WB (beim Streaming)
Einschränkungen bei der Ausführung von Funktionen (eingeschränkte Funktionen)	<p>Die folgenden Einschränkungen gelten im Netzwerkclientmodus.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wenn AIRPLANE MODE auf „ON“ gesetzt ist, sind nur kabelgebundene LAN-Verbindungen aktiviert. • Bei XAVC QFHD-Aufnahmen (4K Modus) ist das Video-Ausgabeziel unveränderlich auf den Sucher und den LCD-Bildschirm (VF/LCD PANEL) beschränkt.

Weitere Informationen

Für Funktionen in Ver. 2.00 werden die folgenden ergänzenden Informationen zur Verfügung gestellt.

Teilweise Aufhebung von Einschränkungen bei Aufzeichnungen mit hoher Bildfrequenz

Die Beschränkung „Black Gamma in Bildprofilen ist fest auf 0 gesetzt“ für Aufzeichnungen mit hoher Bildfrequenz wurde aufgehoben.

DE



L'aggiornamento ha aggiunto nuove funzioni alla videocamera.

Questo documento descrive le funzioni e le rispettive operazioni aggiunte con la Ver. 2.00.
Leggere questo documento assieme al “Manuale delle istruzioni” della videocamera.

Funzioni aggiunte con la Ver. 2.00

- Registrazione/riproduzione/uscita in High Dynamic Range (HDR)
 - Zebra 1 / Zebra 2
 - Streaming di alta qualità tramite in NETWORK CLIENT MODE
 - Supporto per le seguenti funzioni di MCX-500 Multi-Camera Live Producer (in vendita separatamente) e RM-30BP Remote Commander (in vendita separatamente)
 - Display Tally
 - Controllo delle registrazioni tramite MCX-500
- Per ulteriori informazioni, fare riferimento alle istruzioni per l'uso in dotazione a MCX-500 e RM-30BP.

Nota

- Importanti informazioni personali (informazioni sulla destinazione dello streaming, informazioni di accesso al server FTP, ecc.) sono memorizzate nella videocamera quando si utilizzano le funzioni di rete. Eseguire una delle seguenti funzioni nel caso di passaggio di proprietà o lo smaltimento della videocamera.
 - Menu  (OTHERS) → INITIALIZE
 - Menu  (NETWORK SET) → NETWORK RESET

Indice

High Dynamic Range (HDR)

Riprese con un profilo di immagine compatibile con HDR	4
Voci del profilo immagine correlate a HDR	4
Utilizzo della funzione di assistenza di visualizzazione gamma	5
Riproduzione di video registrati in HDR sulla videocamera	6
Limitazioni dei file HDR registrati in formati diversi da XAVC	7

Zebra 1 / Zebra 2

Impostazione della funzione Zebra	7
---	---

Streaming di alta qualità tramite NETWORK CLIENT MODE

Configurazione utilizzando il menu	8
Avvio della modalità client della rete	9
Avvio/arresto dello streaming in modalità client della rete	9
Arresto della modalità client della rete	9
Messaggi di errore	10
Formati supportati nella modalità client della rete	11
Operazioni e visualizzazioni modalità client della rete	13
Limitazioni funzionali	14

Informazioni aggiuntive


Parziale rimozione delle limitazioni di registrazione in modalità High Frame Rate	15
--	----

High Dynamic Range (HDR)

Applicando un profilo di immagine compatibile con HDR, è ora possibile ottenere un campo di riproduzione della luminosità più ampio rispetto a quanto precedentemente possibile. La videocamera supporta Hybrid Log-Gamma (HLG), con quattro impostazioni selezionabili. L'impostazione [HLG] è equivalente a ITU-R BT.2100. Le impostazioni [HLG1], [HLG2] e [HLG3] consentono di riprodurre immagini con una gamma dinamica più ampia, a differenza delle immagini, meno naturali, riprodotte con la videocamera esistente.

Riprese con un profilo di immagine compatibile con HDR

[PP10] è stato aggiunto per le riprese in HDR.

- 1 **Selezionare il menu**  (CAMERA SET) → [PICTURE PROFILE] → [PP10].

Numero del profilo immagine	Impostazioni di esempio
PP10	Impostazione per le riprese in HDR

Nota

Le impostazioni del profilo dell'immagine sulla videocamera sono dalla voce [PP1] fino alle voci [PP6] e [PP10].

- 2 **Regolare le voci del profilo dell'immagine, secondo le esigenze.**

- 3 **Premere il tasto START/STOP (o il tasto di registrazione sull'impugnatura).**

I filmati ripresi in HDR sono registrati sulla scheda di memoria.

Note

• **Registrazione XAVC**

Nella registrazione di video HDR in formato XAVC sulla videocamera, lo spazio colore, la gamma e altri metadati necessari per la riproduzione e la visualizzazione in HDR sono memorizzati nel file video.

Sui dispositivi utilizzati per la riproduzione e la visualizzazione che supportano i metadati, il video viene visualizzato automaticamente con le impostazioni appropriate. Sui dispositivi che non supportano i metadati, è necessario effettuare una configurazione manuale.

• **Registrazione AVCHD o MPEG HD**

Le registrazioni in formato AVCHD e in formato MPEG HD non supportano i metadati HDR. Per ottenere una riproduzione e una visualizzazione HDR ottimali, è necessario effettuare una configurazione manuale.

Voci del profilo immagine correlate a HDR

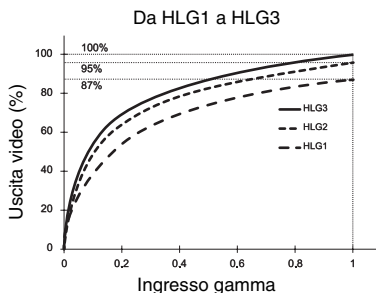
Le seguenti voci sono state aggiunte.

Voci [GAMMA]

(Impostazione predefinita in grassetto)

Voce	Descrizione
[HLG]	Impostazione equivalente a ITU-R BT.2100.
[HLG1]	Impostazione che offre una cancellazione del rumore superiore rispetto a [HLG2]. Tuttavia, la gamma dinamica che può essere ripresa è più limitata.
[HLG2]	Impostazione con bilanciamento tra gamma dinamica e cancellazione del rumore.
[HLG3]	Impostazione che offre una gamma dinamica più ampia rispetto a [HLG2]. Il livello del rumore tuttavia aumenterà.

[HLG1], [HLG2], e [HLG3] utilizzano tutti la stessa caratteristica della curva di gamma. Solo le caratteristiche della gamma dinamica e della cancellazione del rumore differiscono.



Note

- Il valore massimo dell'uscita video dipende dall'uscita selezionata - [HLG1], [HLG2] o [HLG3] ([HLG1]: 87%, [HLG2]: 95%, [HLG3]: 100%). Raccomandiamo di effettuare una ripresa di prova per prevenire la perdita di dettagli durante le riprese vere e proprie.
- Le seguenti limitazioni sono applicabili quando si seleziona [HLG], [HLG1], [HLG2], o [HLG3].
 - Se [MODE] è impostato su AUTO per [KNEE], l'impostazione [KNEE] viene disattivata.
 - [COLOR MODE] può essere impostato solo su [BT.2020] o [709].
 - L'impostazione [BLACK GAMMA] è disattivata.
 - Non è possibile utilizzare [AUTO BACK LIGHT].

Voci [COLOR MODE]

(Impostazione predefinita in grassetto)

Voce	Descrizione
[BT.2020]	Tono di colore standard quando [HLG], [HLG1], [HLG2] o [HLG3] sono selezionati per [GAMMA].
[709]	Tono di colore per la registrazione del colore del formato HDTV (BT.709) quando [HLG], [HLG1], [HLG2] o [HLG3] sono selezionati per [GAMMA].


Nota

Le barre di colore non sono visualizzate correttamente se [BT.2020] è selezionato.

Utilizzo della funzione di assistenza di visualizzazione gamma

Il mirino e lo schermo LCD della videocamera non supportano HDR e quindi non sono in grado di visualizzare contenuti HDR. Possono tuttavia visualizzare un'immagine per agevolare le riprese utilizzando la funzione di assistenza per la visualizzazione gamma.

La funzione di assistenza per la visualizzazione gamma viene applicata solo al video di monitoraggio o al video di riproduzione visualizzati nel mirino o sullo schermo LCD. Non viene applicata al video registrato e al video riprodotto.

- Selezionare il menu  (DISPLAY SET) → [GAMMA DISP ASSIST] → [ON/OFF] → [ON].**
- Selezionare [GAMMA DISP ASSIST] → [TYPE].**

IT

3 Selezionare una delle seguenti voci.

(Impostazione predefinita in grassetto)



Voce	Descrizione
[AUTO]	Schermata ripresa: Corregge automaticamente l'immagine in base all'impostazione del profilo dell'immagine. Schermata riproduzione: Per i file AVCHD, MPEG HD e XAVC non HLG, corregge automaticamente l'immagine in base all'impostazione del profilo immagine. Per i file XAVC HLG, corregge automaticamente l'immagine in base alla gamma e alla modalità colore dello schermo di riproduzione. Schermata di anteprima: L'impostazione più recente è preservata (ripresa/riproduzione).
[HLG (BT.2020)]	Applica una correzione idonea quando [GAMMA] è HLG e [COLOR MODE] è impostato su [BT.2020].
[HLG(709)]	Applica una correzione idonea quando [GAMMA] è HLG e [COLOR MODE] è impostato su [709].

Suggestimenti

- Quando la videocamera è alimentata tramite batteria, è possibile monitorare più facilmente l'immagine HDR modificando la luminosità del display LCD. Nel menu DISPLAY SET, selezionare [LCD BRIGHT] → [BRIGHT].
- È possibile assegnare l'impostazione [GAMMA DISP ASSIST] ON/OFF a un tasto ASSIGN.

Icone visualizzate

Quando la funzione di assistenza per la visualizzazione gamma è attiva, le seguenti icone sono visualizzate sulla schermata di ripresa e la schermata di riproduzione.

Icona	Significato
	[HLG(BT.2020)] è in uso
	[HLG(709)] è in uso

Riproduzione di video registrati in HDR sulla videocamera

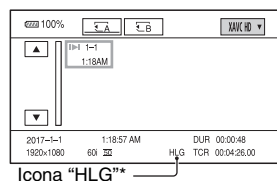
È possibile riprodurre un video registrato in HDR sulla videocamera.

Durante la riproduzione di file registrati in formato XAVC QFHD o HD XAVC, un'icona "HLG" viene visualizzata sullo schermata di anteprima e sulla schermata di riproduzione (vedere i diagrammi sottostanti).

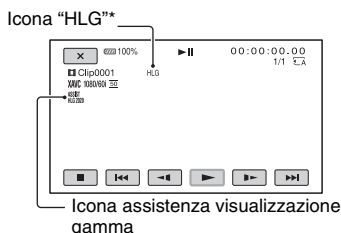
Note

- Un'icona "HLG" non viene visualizzata se si riproducono file in formato AVCHD o MPEG HD registrati in HDR.
- Le uscite HDMI e SDI non supportano i metadati HDR. Per ottenere una visualizzazione HDR ottimale, è necessario effettuare una configurazione manuale.

Schermata anteprima



* Solo file registrati in formato XAVC.



* Solo file registrati in formato XAVC.

Limitazioni dei file HDR registrati in formati diversi da XAVC

Le seguenti limitazioni sono applicabili ai file registrati in formati diversi da XAVC-QFHD o XAVC HD.

- L'utilizzo di HLG durante la registrazione non è memorizzato nei metadati.
- L'icona "HLG" non è visualizzata sulla schermata di anteprima e sulla schermata di riproduzione.

Zebra 1 / Zebra 2

In questa versione è stata migliorata la funzione Zebra, offrendo due tipi di impostazione diversi. Inoltre, è ora possibile regolare le impostazioni di livello in incrementi dell'1%.

- Zebra 1: Consente di impostare un livello e una gamma di riferimento per la visualizzazione del motivo zebrato.
- Zebra 2: Visualizza il motivo zebrato al di sopra di un livello impostato.

Impostazione della funzione Zebra

Selezionare il menu (DISPLAY SET) → [ZEBRA] e impostare le seguenti voci.
(Impostazione predefinita in grassetto)

Voce	Impostazioni
[ZEBRA SELECT]	OFF , ZEBRA1, ZEBRA2
[ZEBRA1 LEVEL] *1	Da 0% a 109% (incrementi di 1%) (70%)
[ZEBRA1 APERTURE LEVEL] *2	Da 2% a 20% (incrementi di 2%) (10%)
[ZEBRA2 LEVEL] *3	Da 0% a 109% (incrementi di 1%) (100%)

*1 Livello di Zebra 1 (livello di riferimento)

*2 Gamma di Zebra 1

*3 Livello di Zebra 2 (livello minimo)

Quando ZEBRA1 o ZEBRA2 sono selezionati, l'icona o l'icona sono visualizzate.

Note

- Non è possibile visualizzare contemporaneamente i motivi zebrati di Zebra 1 e Zebra 2.
- Il motivo zebrato non viene registrato sulla scheda di memoria.

- Quando [ZEBRA SELECT] è OFF, il punto di zebra dell'istogramma non è visualizzato anche se [HISTOGRAM] è impostato su [ON[ZEBRA POINT]] nel menu DISPLAY SET.

Suggerimento

- È possibile assegnare [ZEBRA] a un tasto ASSIGN. A ogni pressione del tasto, le impostazioni cambieranno nella sequenza OFF → ZEBRA1 → ZEBRA2.

Streaming di alta qualità tramite NETWORK CLIENT MODE

Lo streaming di alta qualità con l'impiego della tecnologia Sony QoS è supportato nella modalità client della rete collegando una Sony PWS-100RX1 Network RX Station (in vendita separatamente) come Connection Control Manager (nel seguito "CCM").

Nota

- Una configurazione di rete di base è necessaria per poter usare questa funzione. Per dettagli sulle impostazioni di rete della videocamera, consultare "Configurazione di una rete LAN wireless", "Configurazione di una LAN cablata" e "Ripristino delle impostazioni di rete" nel Manuale delle istruzioni.

Configurazione utilizzando il menu

Selezionare il menu  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET], inserire le voci di seguito e selezionare OK.

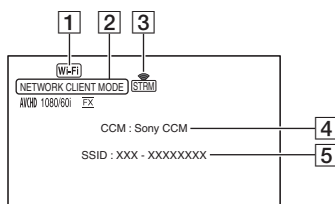
- Host Name: Indirizzo IP o nome host del CCM collegato
- Port: Numero di porta del CCM collegato
- User: Nome utente
- Password: Password

Avvio della modalità client della rete

1 Selezionare  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [EXECUTE].

2 Selezionare il metodo di connessione (cablata/wireless).

La videocamera si connette al CCM.
Dopo la connessione al CCM, lo streaming è abilitato.



1 Wi-Fi o LAN

2 NETWORK CLIENT MODE

3 Indicatore stato streaming
Per ulteriori informazioni, vedere
“Icona visualizzata” (pagina 13).

4*Nome CCM (impostato sul
versante CCM)

5*SSID del punto di accesso (quando
è selezionato wireless)

* **4** e **5** sono visualizzati solo subito dopo
la connessione al CCM.

Nota

- Per informazioni dettagliate sulle limitazioni nell'uso della modalità client della rete, vedere “Limitazioni funzionali” (pagina 14).

Suggerimenti

- È possibile assegnare la funzione di avvio/arresto della modalità client della rete (NETWORK CLIENT MODE) a un tasto ASSIGN.
- La frequenza fotogrammi dei dati di streaming varia a seconda delle impostazioni di registrazione relative al file originale. Per ulteriori informazioni, vedere “Formati supportati nella modalità client della rete” (pagina 11).

- Per informazioni dettagliate sulle operazioni della videocamera supportate nella modalità client della rete, vedere “Operazioni e visualizzazioni modalità client della rete” (pagina 13).

Avvio/arresto dello streaming in modalità client della rete

Lo streaming viene avviato e arrestato dal CCM.

Per ulteriori informazioni, fare riferimento alle istruzioni per l'uso in dotazione al CCM.

Arresto della modalità client della rete

1 Arresto della registrazione, se attiva.
(La modalità client della rete non può essere arrestata durante una registrazione.)

2 Premere uno dei tasti seguenti.

- Tasto MENU
- Tasto ASSIGN assegnato alla funzione di avvio/arresto della modalità client della rete

3 Selezionare [YES] nella schermata di conferma.


La modalità client della rete si arresta.

IT

Messaggi di errore

Se si verificano problemi durante la modalità client della rete, vengono visualizzati i seguenti messaggi di errore. Intervenire in base al messaggio visualizzato.

Consultare anche “Messaggi di errore” nel Manuale delle istruzioni della videocamera.

Messaggio di errore	Soluzione
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or automatic acquisition of an IP address has failed.	Controllare la password (chiave WEP). Controllare le impostazioni DHCP del punto di accesso.
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or the IP address setting is wrong.	Controllare la password (chiave WEP). Controllare l'impostazione dell'IP address della videocamera.
Failed to connect to the CCM. Check the “CCM SET”.	Controllare le impostazioni nel menu  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET].
Failed to acquire an IP address. Check the DNS server setting or the “CCM SET”.	Verificare che il nome host del CCM sia corretto. Controllare le impostazioni DNS della videocamera e del punto di accesso.
Failed to connect to the CCM. Check “CCM SET” or the settings of the connection destination.	Controllare l'impostazione CCM della videocamera nonché il nome utente, la password, il numero di porta e le altre impostazioni della destinazione della connessione. Inoltre verificare lo stato della connessione di rete.
Failed to connect to the CCM. Check the “CLOCK SET”.	Verificare che l'orologio della videocamera sia impostato correttamente.
Failed to connect to the CCM.	Controllare le impostazioni della videocamera e lo stato sul versante CCM.

Formati supportati nella modalità client della rete

Nota

Il formato immagini dei dati di streaming è impostato sul versante CCM. Il formato è 1.280×720 quando CCM è HIGH e 640×360 quando CCM è LOW.

File originale (XAVC)			Dati in streaming			
Dimensioni dell'immagine			1.280×720		640×360	
	Frequenza dei fotogrammi (fps)	Velocità in bit massima (Mbps)	30(25)p	24p	30(25)p	24p
			6	6	3	3
3.840×2.160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1.920×1.080	60(50)p	50	Sì		Sì	
		35	Sì		Sì	
	60(50)i	50	Sì		Sì	
		35	Sì		Sì	
		25	Sì		Sì	
	30(25)p	50	Sì		Sì	
		35	Sì		Sì	
	24p	50		Sì		Sì
		35		Sì		Sì
	1.280×720	60(50)p	50	Sì		Sì

File originale (MPEG HD 422)			Dati in streaming			
Dimensioni dell'immagine			1.280×720		640×360	
	Frequenza dei fotogrammi (fps)	Velocità in bit massima (Mbps)	30(25)p	24p	30(25)p	24p
			6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)i	50	Sì		Sì	
	30(25)p	50	Sì		Sì	
	24p	50		Sì		Sì
1.280×720	60(50)p	50	Sì		Sì	

IT

File originale (MPEG HD 420)			Dati in streaming			
Dimensioni dell'immagine			1.280×720		640×360	
	Frequenza dei fotogrammi (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Velocità in bit massima (Mbps)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)i	HQ	Sì		Sì	
	30(25)p	HQ	Sì		Sì	
	24p	HQ		Sì		Sì
1.440×1.080	60(50)i	HQ	Sì		Sì	
1.280×720	60(50)p	HQ	Sì		Sì	

File originale (AVCHD)			Dati in streaming			
Dimensioni dell'immagine			1.280×720		640×360	
	Frequenza dei fotogrammi (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Velocità in bit massima (Mbps)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)p	PS				
		FX	Sì		Sì	
	30(25)p	FH	Sì		Sì	
		FX	Sì		Sì	
	24p	FH	Sì		Sì	
		FX		Sì		Sì
1.280×720	60(50)p	FH		Sì		Sì
		FX				
		HQ				

Registrazione con la videocamera

Premere il tasto START/STOP (o il tasto di registrazione sull'impugnatura) per avviare la registrazione.

Per interrompere la registrazione, premere di nuovo il tasto.

Lo stato di registrazione della videocamera viene visualizzato tramite i seguenti indicatori.

STBY: Modalità standby

REC: Registrazione

Nota



Durante lo streaming non è possibile cambiare lo slot corrente usando il tasto SLOT SEL o rimuovendo/inserendo il supporto di memoria.

Funzioni abilitate

Sono abilitate le funzioni indicate di seguito. Azionare la videocamera servendosi dei selettori e dei tasti hardware. L'utilizzo dei menu non è supportato.

- Zoom
- Messa a fuoco
- Regolazione del volume di streaming
- Regolazione dell'esposizione (diaframma, guadagno e velocità otturatore)
- Bilanciamento del bianco

Icona visualizzata

Icona	Significato
	Standby di streaming
	Streaming

Limitazioni funzionali

Limitazione	Descrizione
Limitazioni dovute alle impostazioni di registrazione e allo stato	<p>Con le impostazioni o negli stati seguenti non è possibile eseguire la modalità client della rete.</p> <ul style="list-style-type: none">• Modalità XAVC QFHD (4K)• AVCHD 1080/60p, 1080/50p, 720/60p, 720/50p• Durante la registrazione di filmati• Durante la riproduzione di filmati• Durante la visualizzazione della schermata THUMBNAİL• Quando si utilizza il telecomando Wi-Fi• Quando si utilizza S&Q MOTION
Limitazioni relative all'esecuzione delle funzioni (funzioni non supportate)	<p>Le seguenti funzioni non possono essere utilizzate durante la modalità client della rete.</p> <ul style="list-style-type: none">• Utilizzo del menu• Telecomando Wi-Fi• SIMUL/RELAY REC• Registrazione proxy• DATE REC• ZEBRA• PEAKING• MARKER• FACE DETECTION• COLOR BAR• D. EXTENDER• S&Q MOTION• NIGHTSHOT• FOCUS MAGNIFIER• AUTO MODE SET• ONE PUSH WB (durante lo streaming)
Limitazioni relative all'esecuzione delle funzioni (funzioni con restrizioni)	<p>Durante la modalità client della rete sussistono le seguenti limitazioni.</p> <ul style="list-style-type: none">• Solo la connessione LAN cablata è abilitata se AIRPLANE MODE è ON.• La destinazione dell'uscita video durante la registrazione in XAVC QFHD (modalità 4K) è fissa sul mirino e schermo LCD (VF/LCD PANEL).

Informazioni aggiuntive

Di seguito si forniscono ulteriori informazioni per le funzioni presenti nella Ver. 2.00.

Parziale rimozione delle limitazioni di registrazione in modalità High Frame Rate

È stata rimossa la limitazione “Gamma del nero fissata su 0” per le registrazioni in modalità High Frame Rate.



Se han añadido funciones nuevas a su videocámara mediante la actualización.

En este documento se describen las funciones y las operaciones respectivas que se han añadido en la versión 2.00. Lea este documento junto con el “Manual de instrucciones” de la videocámara.

Funciones añadidas con la versión 2.00

- Grabación/reproducción/emisión en HDR (Alto rango dinámico)
- Cebra 1 / Cebra 2
- Transmisión en directo de alta calidad utilizando el NETWORK CLIENT MODE
- Compatibilidad con las siguientes funciones del Productor en vivo multicámara MCX-500 (se vende por separado) y el Comando a distancia RM-30BP (se vende por separado)
 - Pantalla de escrutinio
 - Control de grabación del MCX-500
 Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones suministrado con el MCX-500 y el RM-30BP.

🔊 Nota

- La información personal importante (información de destino de la transmisión en directo, información de inicio de sesión del servidor FTP, etc.) se almacena en la videocámara cuando se utilizan funciones de red. Ejecute una de las opciones siguientes cuando transfiera la propiedad de la videocámara o cuando la deseche.
 - Menú  (OTHERS) → INITIALIZE
 - Menú  (NETWORK SET) → NETWORK RESET

Contenido

Alto rango dinámico (HDR)

Filmación utilizando el perfil de imagen compatible con HDR	4
Elementos relacionados con HDR del perfil de imagen	4
Utilización de la función de asistencia a la visualización gamma	5
Reproducción de vídeo grabado en el modo HDR en la videocámara	6
Limitaciones de los archivos HDR grabados en formatos que no sean XAVC ...	7

Cebra 1 / Cebra 2

Ajuste de cebra	7
-----------------------	---

Transmisión en directo de alta calidad utilizando el NETWORK CLIENT MODE

Configuración a través del menú	8
Inicio del modo de cliente de red	9
Inicio/detención de la transmisión en el modo de cliente de red	9
Detención del modo de cliente de red	9
Mensajes de error	10
Formatos admitidos en el modo de cliente de red	11
Visualización y operaciones del modo de cliente de red	13
Limitaciones de función	14

Información adicional

Eliminación parcial de las limitaciones de la grabación de alta frecuencia de imágenes	15
---	----

Alto rango dinámico (HDR)

Ahora se admite la reproducción del brillo en un rango mucho más amplio que el que había disponible anteriormente gracias a la aplicación de un perfil de imagen compatible con HDR. La videocámara admite Hybrid Log-Gamma (HLG), con cuatro ajustes seleccionables.

El ajuste [HLG] es equivalente a ITU-R BT.2100. Los ajustes [HLG1], [HLG2] y [HLG3] permiten que las imágenes se reproduzcan con una gama dinámica más amplia sin imágenes que no parezcan naturales, como puede pasar en la reproducción de imágenes de la cámara actual.

Filmación utilizando el perfil de imagen compatible con HDR

[PP10] se ha añadido para filmar en el modo HDR.

- 1 Seleccione el menú  (CAMERA SET) → [PICTURE PROFILE] → [PP10].

Número del perfil de imagen	Ajuste de ejemplo
PP10	Ajuste para filmar en el modo HDR

Nota

Los ajustes del perfil de imagen de la videocámara son de [PP1] a [PP6] y [PP10].

- 2 Ajuste los elementos del perfil de imagen, según sea necesario.

- 3 Pulse el botón START/STOP (o el botón de grabación del asa).

Las películas capturadas en el modo HDR se graban en la tarjeta de memoria.

Notas

- Para grabación en XAVC

Cuando se graba vídeo HDR en formato XAVC en la videocámara, el espacio de color, el gamma y otros metadatos requeridos para la reproducción y la visualización de HDR se guardan en el archivo de vídeo.

En dispositivos utilizados para la reproducción y la visualización compatibles con los metadatos, el vídeo se visualiza automáticamente con la configuración adecuada. En dispositivos no compatibles con los metadatos, se requiere configuración manual.

- Para la grabación en AVCHD/MPEG HD

Las grabaciones en formato AVCHD y MPEG HD no son compatibles con los metadatos HDR.

Para la reproducción y la visualización adecuada de HDR, se requiere configuración manual.

Elementos relacionados con HDR del perfil de imagen

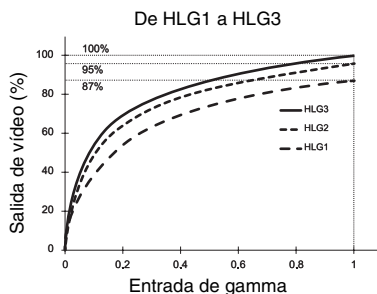
Se han añadido los siguientes elementos.

Elementos [GAMMA]

(Ajuste predeterminado en negrita)

Elemento	Descripción
[HLG]	Ajuste equivalente a ITU-R BT.2100.
[HLG1]	Un ajuste que proporciona una mayor supresión del ruido que [HLG2]. No obstante, el rango dinámico que puede capturarse es más restringido.
[HLG2]	Un ajuste que mantiene el equilibrio entre el rango dinámico y la supresión del ruido.
[HLG3]	Un ajuste que proporciona un mayor rango dinámico que [HLG2]. No obstante, el nivel de ruido aumenta.

Los ajustes [HLG1], [HLG2] y [HLG3] utilizan la misma característica de curva gamma. Solamente difieren las características de rango dinámico y supresión del ruido.



Notas

- El valor máximo de la salida de vídeo varía según si se ha seleccionado [HLG1], [HLG2] o [HLG3] ([HLG1]: 87%, [HLG2]: 95%, [HLG3]: 100%). Es recomendable realizar una filmación de prueba de antemano para impedir la pérdida de detalle durante la filmación real.
- Cuando se selecciona [HLG], [HLG1], [HLG2] o [HLG3], se aplican las siguientes limitaciones.
 - Si [MODE] se establece en AUTO para [KNEE], el ajuste [KNEE] queda deshabilitado.
 - [COLOR MODE] solo se puede establecer en [BT.2020] o [709].
 - El ajuste [BLACK GAMMA] está deshabilitado.
 - El ajuste [AUTO BACK LIGHT] no se puede utilizar.

Elementos [COLOR MODE]

(Ajuste predeterminado en negrita)


Elemento	Descripción
[BT.2020]	Tono de color estándar cuando se selecciona [HLG], [HLG1], [HLG2] o [HLG3] para [GAMMA].
[709]	Tono de color a fin de grabar el color en formato HDTV (BT.709) cuando se selecciona [HLG], [HLG1], [HLG2] o [HLG3] para [GAMMA].

Nota

Las barras de color no se emiten correctamente cuando se selecciona [BT.2020].

Utilización de la función de asistencia a la visualización gamma

El visor y la pantalla LCD de la videocámara no admiten el modo HDR, por eso no son adecuados para visualizar HDR. No obstante, pueden mostrar una imagen que ayude a filmar utilizando la función de asistencia a la visualización gamma. La función de asistencia a la visualización gamma afecta únicamente al vídeo en supervisión o al vídeo en reproducción que se muestran en el visor o en la pantalla LCD. El vídeo grabado y el vídeo emitido no se verán afectados.

- 1 **Selecione menú  (DISPLAY SET) → [GAMMA DISP ASSIST] → [ON/OFF] → [ON].**
- 2 **Selecione [GAMMA DISP ASSIST] → [TYPE].**

ES

3 Seleccione una de las siguientes opciones.

(Ajuste predeterminado en negrita)

Elemento	Descripción
[AUTO]	<p>Pantalla de filmación: corrige la imagen automáticamente de conformidad con el ajuste del perfil de imagen.</p> <p>Pantalla de reproducción: Para archivos AVCHD, MPEG HD y XAVC que no sean HLG, corrige automáticamente la imagen de acuerdo con la configuración del perfil de imagen actual. Para los archivos XAVC HLG, corrige la imagen automáticamente de conformidad con los modos de color y gamma de la pantalla de reproducción.</p> <p>Pantalla de miniaturas: mantiene el último ajuste (filmación/reproducción).</p>
[HLG (BT.2020)]	Aplica una corrección adecuada para cuando [GAMMA] sea HLG y [COLOR MODE] se establezca en [BT.2020].
[HLG(709)]	Aplica una corrección adecuada para cuando [GAMMA] sea HLG y [COLOR MODE] se establezca en [709].

Consejos

- Cuando la videocámara reciba alimentación mediante la batería, si se cambia el brillo del panel LCD se logrará que la imagen HDR se vea con mayor facilidad en el monitor. En el menú DISPLAY SET, seleccione [LCD BRIGHT] → [BRIGHT].
- Puede asignar el ajuste ON/OFF de [GAMMA DISP ASSIST] a un botón ASSIGN.

Visualización de iconos

Cuando la función de asistencia a la visualización gamma esté ajustada en ON, los iconos siguientes se mostrarán en la pantalla de filmación y en la pantalla de reproducción.

Icono	Significado
	[HLG(BT.2020)] en uso
	[HLG(709)] en uso

Reproducción de vídeo grabado en el modo HDR en la videocámara

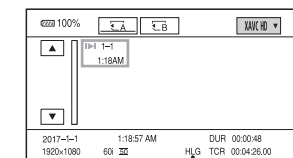
Puede reproducir vídeo grabado en el modo HDR en la videocámara.

Cuando reproduzca archivos grabados en formato XAVC QFHD o XAVC HD, se visualizará un icono de “HLG” en la pantalla de miniaturas y en la pantalla de reproducción (consulte los siguientes diagramas).

Notas

- Cuando reproduzca archivos de formato AVCHD o MPEG HD grabados en el modo HDR, no se visualizará ningún icono de “HLG”.
- La salida HDMI y la salida SDI no son compatibles con los metadatos HDR. Para una visualización de HDR adecuada, se requiere una configuración manual.

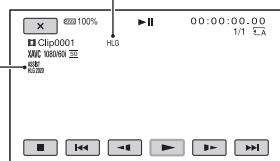
Pantalla de miniaturas



Icono de “HLG”

- * Solo para los archivos grabados en formato XAVC.

Icono de "HLG"*



Icono de asistencia a la visualización gamma

* Solo para los archivos grabados en formato XAVC.

Limitaciones de los archivos HDR grabados en formatos que no sean XAVC

Las siguientes limitaciones se aplican a los archivos grabados en formatos distintos de XAVC-QFHD o XAVC HD.

- El hecho de que la grabación utilizada en el estándar HLG no quede registrada en los metadatos.
- El icono de "HLG" no se visualiza en la pantalla de miniaturas ni en la pantalla de reproducción.

Cebra 1 / Cebra 2

En esta versión se ha mejorado la función cebra, que permite seleccionar los dos tipos siguientes de ajuste. Ahora es posible ajustar la configuración del nivel en incrementos del 1%.

- Cebra 1: establece un rango y un nivel de referencia para la visualización de cebra.
- Cebra 2: muestra el patrón de cebra por encima del nivel establecido.

Ajuste de cebra

Seleccione el menú (DISPLAY SET) → [ZEBRA] y establezca los siguientes elementos.

(Ajuste predeterminado en **negrita**)

Elemento	Ajustes
[ZEBRA SELECT]	OFF , ZEBRA1, ZEBRA2
[ZEBRA1 LEVEL] *1	De 0% a 109% (incrementos de 1%) (70%)
[ZEBRA1 APERTURE LEVEL] *2	De 2% a 20% (incrementos de 2%) (10%)
[ZEBRA2 LEVEL] *3	De 0% a 109% (incrementos de 1%) (100%)

*1 Nivel de Cebra 1 (nivel de referencia)

*2 Rango de Cebra 1

*3 Nivel de Cebra 2 (nivel mínimo)

Cuando se selecciona ZEBRA1 o ZEBRA2, aparece el icono o el icono .

Notas

- Cebra 1 y Cebra 2 no se pueden visualizar al mismo tiempo.
- La cebra no se graba en la tarjeta de memoria.
- Cuando [ZEBRA SELECT] se ajusta en OFF, no se muestra el punto de cebra del histograma, aunque [HISTOGRAM] se haya establecido en [ON[ZEBRA POINT]] en el menú DISPLAY SET.

ES

Consejo

- Puede asignar [ZEBRA] a un botón ASSIGN. El ajuste cambia a OFF → ZEBRA1 → ZEBRA2 cada vez que se pulsa el botón.


Transmisión en directo de alta calidad utilizando el NETWORK CLIENT MODE

La transmisión en directo de alta calidad mediante el uso de la tecnología Sony QoS se admite en el modo de cliente de red conectando una Sony PWS-100RX1 Network RX Station (se vende por separado) que actúe como Administrador de control de conexiones (en adelante, “CCM”).

Nota

- Se requiere una configuración de red básica para poder utilizar esta función.
Para obtener más información sobre los ajustes de red de la videocámara, consulte “Configuración de una LAN inalámbrica”, “Configuración de una LAN por cable” y “Restablecimiento de los ajustes de red” en el Manual de instrucciones.

Configuración a través del menú

Seleccione el menú  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET], introduzca los elementos siguientes y seleccione OK.

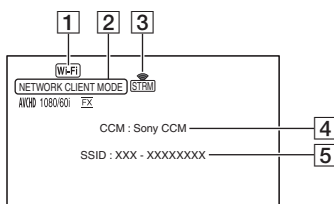
- Host Name: dirección IP o nombre de host del CCM conectado
- Port: número de puerto del CCM conectado
- User: nombre de usuario
- Password: contraseña

Inicio del modo de cliente de red

- 1 **Seleccione  (NETWORK SET)**
→ [NETWORK CLIENT MODE]
→ [EXECUTE].

- 2 **Seleccione el método de conexión (con cables/inalámbrica).**

La videocámara se conectará al CCM.
Una vez establecida la conexión con el CCM, podrá realizar transmisiones.



- 1 Wi-Fi o LAN
- 2 NETWORK CLIENT MODE
- 3 Indicador de estado de la transmisión en directo
Para obtener más información, consulte “Visualización de iconos” (página 13).
- 4 *Nombre del CCM (se establece en el lado del CCM)
- 5 *SSID del punto de acceso (cuando se selecciona la conexión inalámbrica)

* [4] y [5] solo aparecerán inmediatamente después de la conexión al CCM.

Nota

- Para obtener más información sobre las limitaciones del modo de cliente de red, consulte “Limitaciones de función” (página 14).

Consejos

- Puede asignar la función de inicio/detención del modo de cliente de red (NETWORK CLIENT MODE) a un botón ASSIGN.

- La velocidad de transferencia de los datos de la transmisión variará en función de los ajustes de grabación del archivo original. Si desea obtener más información, consulte “Formatos admitidos en el modo de cliente de red” (página 11).
- Para obtener más información sobre las operaciones admitidas en la videocámara en el modo de cliente de red, consulte “Visualización y operaciones del modo de cliente de red” (página 13).

Inicio/detención de la transmisión en el modo de cliente de red

Las transmisiones las inicia y detiene el CCM.

Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del CCM.

Detención del modo de cliente de red

- 1 **Detenga la grabación, si está grabando en este momento.**
(El modo de cliente de red no se puede detener durante la grabación).
- 2 **Pulse uno de los siguientes botones.**
 - Botón MENU
 - Botón ASSIGN al que se ha asignado la función de inicio/detención del modo de cliente de red
- 3 **Seleccione [YES] en la pantalla de confirmación.**


El modo de cliente de red se detendrá.

ES

Mensajes de error

Cuando se produzcan problemas durante el funcionamiento del modo de cliente de red, es posible que aparezcan los siguientes mensajes de error. Tome medidas en función del mensaje que se visualice.

Consulte también “Mensajes de error” en el Manual de instrucciones de la videocámara.

Mensaje de error	Solución
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or automatic acquisition of an IP address has failed.	Compruebe la contraseña (clave WEP). Compruebe los ajustes de DHCP del punto de acceso.
Cannot authenticate with WEP. The password is wrong or the IP address setting is wrong.	Compruebe la contraseña (clave WEP). Compruebe el ajuste IP address de la videocámara.
Failed to connect to the CCM. Check the “CCM SET”.	Compruebe el menú  (NETWORK SET) → [NETWORK CLIENT MODE] → los ajustes de [CCM SET].
Failed to acquire an IP address. Check the DNS server setting or the “CCM SET”.	Compruebe si el nombre de host del CCM es correcto. Compruebe los ajustes de DNS de la videocámara y el punto de acceso.
Failed to connect to the CCM. Check “CCM SET” or the settings of the connection destination.	Compruebe el ajuste de CCM de la videocámara, y el nombre de usuario, contraseña, número de puerto y otros ajustes del destino conectado. Compruebe también el estado de conexión de la red.
Failed to connect to the CCM. Check the “CLOCK SET”.	Compruebe que el reloj de la videocámara esté ajustado a la hora correcta.
Failed to connect to the CCM.	Compruebe los ajustes de la videocámara y el estado del lado del CCM.

Formatos admitidos en el modo de cliente de red

Nota

El tamaño de imagen de los datos de la transmisión se ajusta en el lado del CCM. El tamaño es 1.280×720 cuando CCM es HIGH y 640×360 cuando CCM es LOW.

Archivo original (XAVC)			Datos de transmisión por secuencias			
Tamaño de imagen			1.280×720		640×360	
	Velocidad de fotogramas (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Velocidad de bits (Mbps)	6	6	3	3
3.840×2.160	30(25)p	100				
		60				
	24p	100				
		60				
1.920×1.080	60(50)p	50	Sí		Sí	
		35	Sí		Sí	
	60(50)i	50	Sí		Sí	
		35	Sí		Sí	
		25	Sí		Sí	
	30(25)p	50	Sí		Sí	
		35	Sí		Sí	
	24p	50		Sí		Sí
		35		Sí		Sí
	60(50)p	50	Sí		Sí	
1.280×720	60(50)p	50	Sí		Sí	

ES

Archivo original (MPEG HD 422)			Datos de transmisión por secuencias			
Tamaño de imagen			1.280×720		640×360	
	Velocidad de fotogramas (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Velocidad de bits (Mbps)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)i	50	Sí		Sí	
	30(25)p	50	Sí		Sí	
	24p	50		Sí		Sí
1.280×720	60(50)p	50	Sí		Sí	

Archivo original (MPEG HD 420)			Datos de transmisión por secuencias			
Tamaño de imagen			1.280×720		640×360	
	Velocidad de fotogramas (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Velocidad de bits (Mbps)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)i	HQ	Sí		Sí	
	30(25)p	HQ	Sí		Sí	
	24p	HQ		Sí		Sí
1.440×1.080	60(50)i	HQ	Sí		Sí	
1.280×720	60(50)p	HQ	Sí		Sí	

Archivo original (AVCHD)			Datos de transmisión por secuencias			
Tamaño de imagen			1.280×720		640×360	
	Velocidad de fotogramas (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
		Velocidad de bits (Mbps)	6	6	3	3
1.920×1.080	60(50)p	PS				
		FX	Sí		Sí	
	30(25)p	FH	Sí		Sí	
		FX	Sí		Sí	
	24p	FH	Sí		Sí	
		FX		Sí		Sí
1.280×720	60(50)p	FH		Sí		Sí
		FX				
		HQ				

Visualización y operaciones del modo de cliente de red

Grabación con la videocámara

Pulse el botón START/STOP (o el botón de grabación del asa) para empezar a grabar.

Para detener la grabación, vuelva a pulsar el botón.

Aparecerá el estado de grabación de la videocámara con los siguientes indicadores.

STBY: modo de espera

REC: grabación

Nota



Durante la transmisión en directo no se puede cambiar la ranura actual con el botón SLOT SEL, ni extraer o introducir soportes.

Funciones habilitadas

Las siguientes funciones están habilitadas. Utilice los interruptores y los botones de hardware para controlar la videocámara. No se puede manejar la videocámara desde el menú.

- Zoom
- Enfoque
- Ajuste del volumen de transmisión en directo
- Ajuste de la exposición (diafragma, ganancia y velocidad de obturación)
- Balance de blancos

Visualización de iconos

Icono	Significado
	Transmisión en espera
	Transmisión por secuencias

ES

Limitaciones de función

Limitación	Descripción
Limitaciones debidas a los ajustes y al estado de grabación	<p>El modo de cliente de red no se puede ejecutar con los siguientes ajustes o estados.</p> <ul style="list-style-type: none">• Modo XAVC QFHD (4K)• AVCHD 1080/60p, 1080/50p, 720/60p, 720/50p• Durante la grabación de películas• Durante la reproducción de películas• Durante la visualización de la pantalla THUMBNAIL• Al utilizar el control remoto Wi-Fi• Al utilizar S&Q MOTION
Limitaciones en la ejecución de funciones (funciones no admitidas)	<p>Durante el funcionamiento del modo de cliente de red, no se pueden utilizar las siguientes funciones.</p> <ul style="list-style-type: none">• Operaciones de menú• Control remoto Wi-Fi• SIMUL/RELAY REC• Grabación de proxy• DATE REC• ZEBRA• PEAKING• MARKER• FACE DETECTION• COLOR BAR• D. EXTENDER• S&Q MOTION• NIGHTSHOT• FOCUS MAGNIFIER• AUTO MODE SET• ONE PUSH WB (durante la transmisión)
Limitaciones en la ejecución de funciones (funciones restringidas)	<p>Durante el funcionamiento del modo de cliente de red, se aplican las siguientes limitaciones.</p> <ul style="list-style-type: none">• Solamente se habilita la conexión LAN por cable cuando el AIRPLANE MODE está ajustado en ON.• El destino de la salida de vídeo durante la grabación en formato XAVC QFHD (modo 4K) queda fijado al visor y a la pantalla LCD (VF/LCD PANEL).

Información adicional

Se proporciona la siguiente información adicional relativa a las funciones de la versión 2.00.

Eliminación parcial de las limitaciones de la grabación de alta frecuencia de imágenes

Se ha eliminado la limitación “El gamma negro en perfiles de imagen se fija a 0” para la grabación de alta frecuencia de imágenes.

<http://www.sony.net>